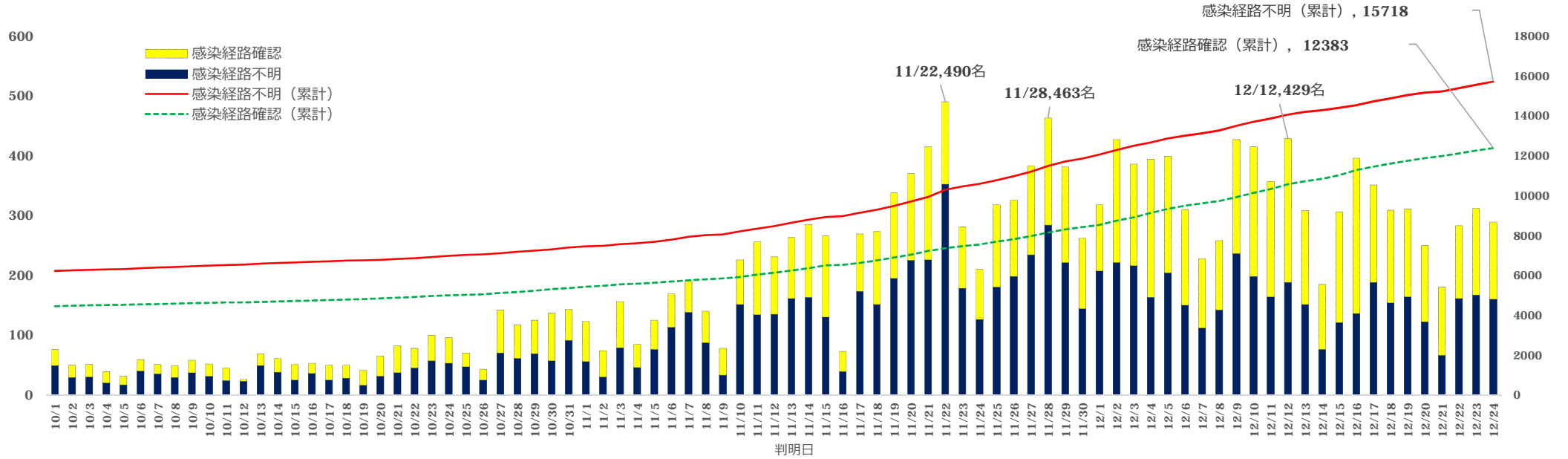


陽性者数の推移

資料 1 - 1



10月10日
自粛要請の緩和スタート
3密で唾液が飛び交う環境自粛要請など

10月14日
Go To Eat Osaka 食事券引換開始

11月1日
入国制限緩和

11月12日～11月28日
「静かに飲食」マスクの徹底の要請等

11月20日対策本部会議
イエローステージ2移行(11月21日)決定

11月21日～12月5日
大阪市を目的地とする旅行のGoToトラベルの適用一時停止

11月24日～
「勝負の三週間」(国)

11月25日～12月16日
大阪府・中央区への施設休業等の要請

11月27日～12月15日
新規発行の一時停止
ポイントや食事券の利用自粛要請、食事券の自粛要請

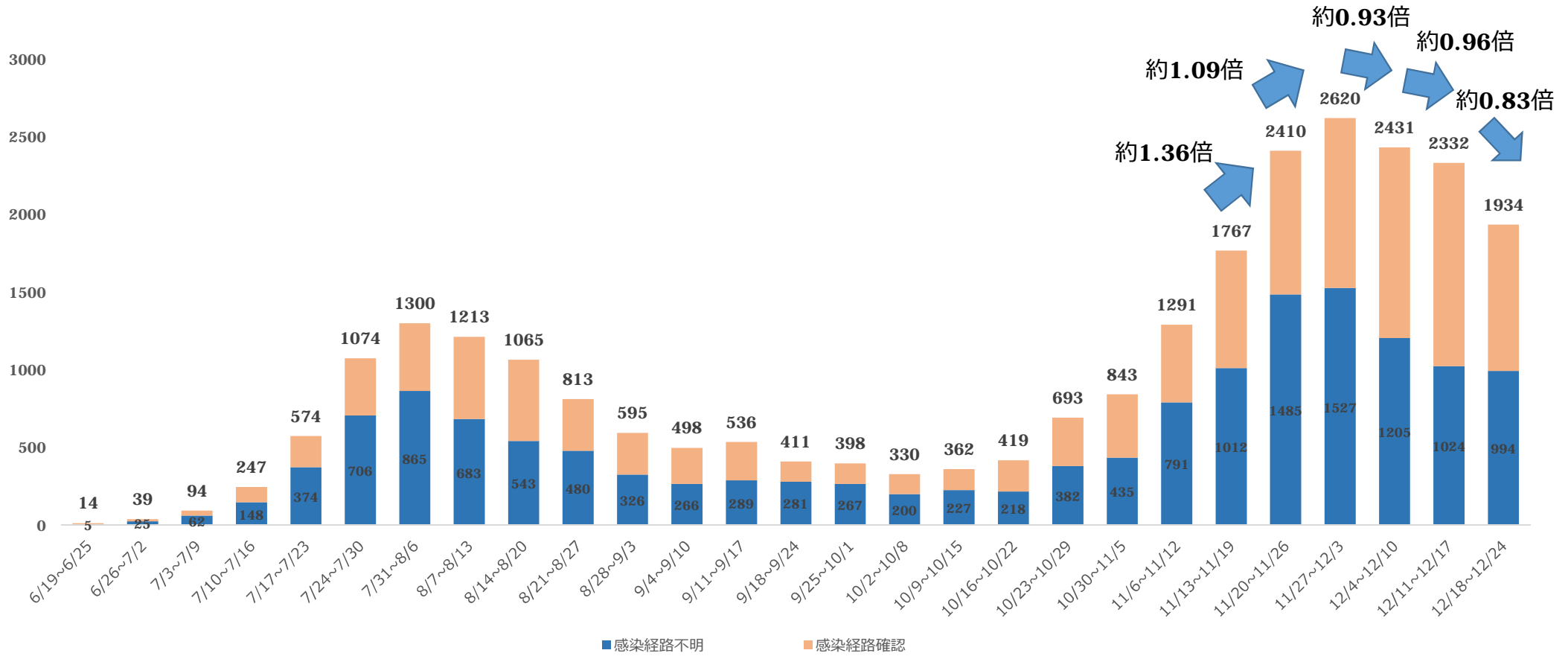
11月27日～
大阪府に居住する方のGoToトラベルの利用自粛要請

12月3日対策本部会議
レッドステージ1移行を決定(赤信号点灯)

12月4日～15日
府民へのできる限り不要不急の外出自粛要請

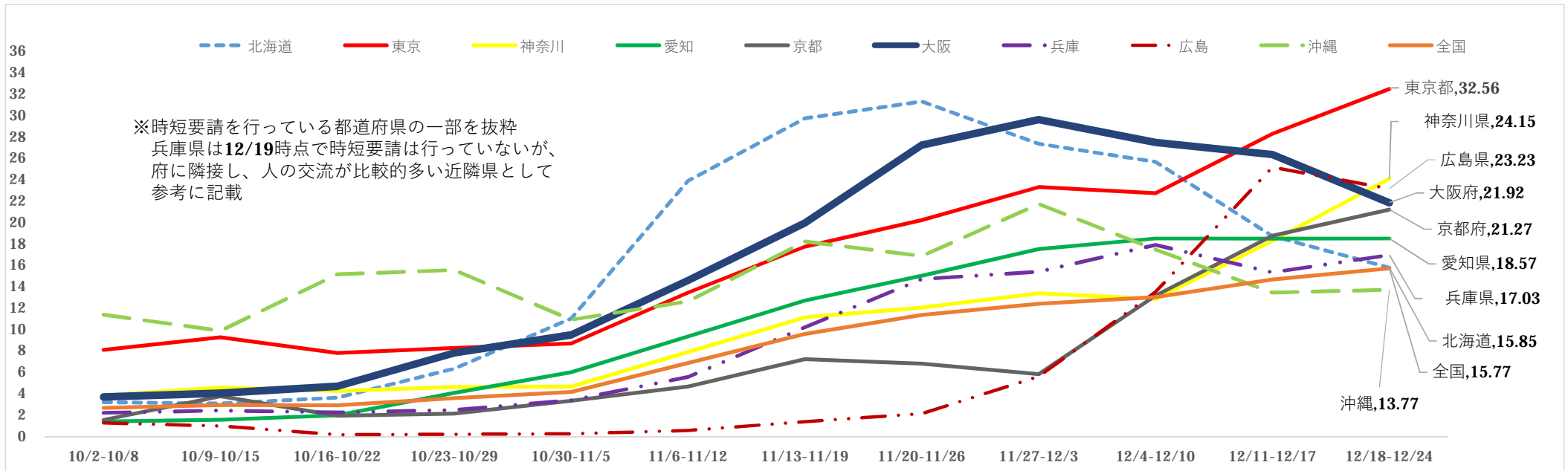
12月16日～29日
府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域への施設休業等の要請

7日間毎の新規陽性者数



11月27日の週をピークに新規陽性者数は減少傾向にあり、直近1週間は前週の0.83倍（一日平均276名程度）

週・人口10万人あたり新規陽性者数

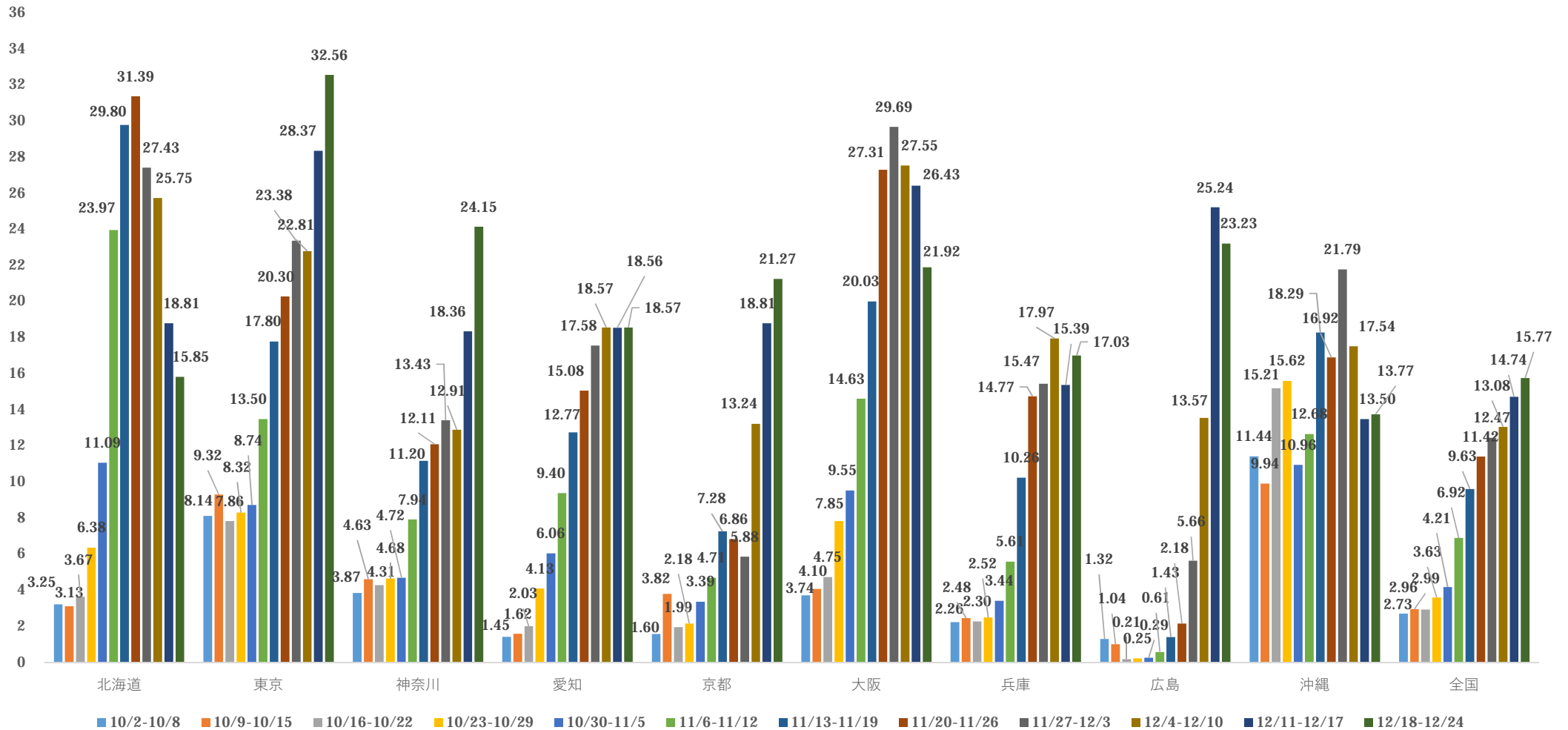


	11/7-11/13	11/14-11/20	11/21-11/27	11/28-12/4	12/5-12/11	12/12-12/18	12/19-12/25	12/26-12/26	12/27-1/2	1/3-1/9	1/10-1/16
北海道	11/7~			11/28~対象地域等拡大			12/25まで	12/26~			1/15まで
東京都				11/28~		12/18~延長			1/11まで		
神奈川県					12/7~		12/18~延長		1/11まで		
愛知県				11/29~		12/18~対象地域拡大			1/11まで		
京都府							12/21~		1/11まで		
大阪府				11/27~		12/16~対象地域拡大	12/29まで				
広島県						12/17~			1/3まで		
沖縄県						12/17~	12/25~対象地域拡大		12/29~延長	1/11まで	

- 時短要請を行っている都道府県のうち、北海道及び大阪府は減少傾向にある。
- 一方、全国及びその他の都府県は感染が拡大継続しており、主要都市では時短要請を1月11日まで継続することを決定。

【大阪の動き】
 11/24~大阪市目的地のGoToトラベルの適用停止
 11/27~大阪市居住者のGoToトラベルの利用自粛要請
 時短要請（北・中央区）・府民のできる限りの外出自粛要請
 Go to eatポイントや食事券の利用自粛要請等
 12/3 赤信号点灯
 12/4~ 時短要請（市内）・府民の不要不急の外出自粛要請

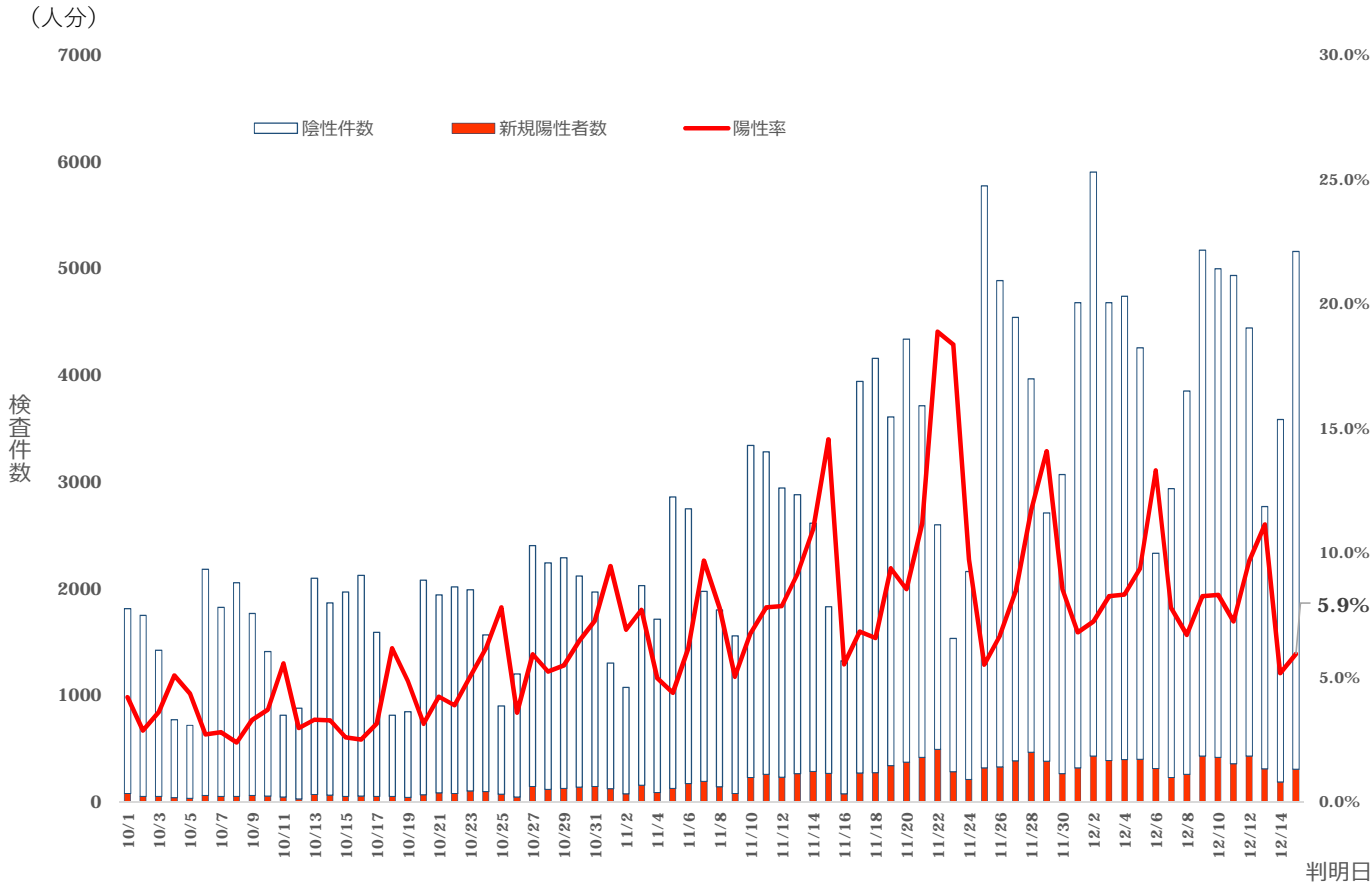
週・人口10万人あたり新規陽性者数（都道府県別）



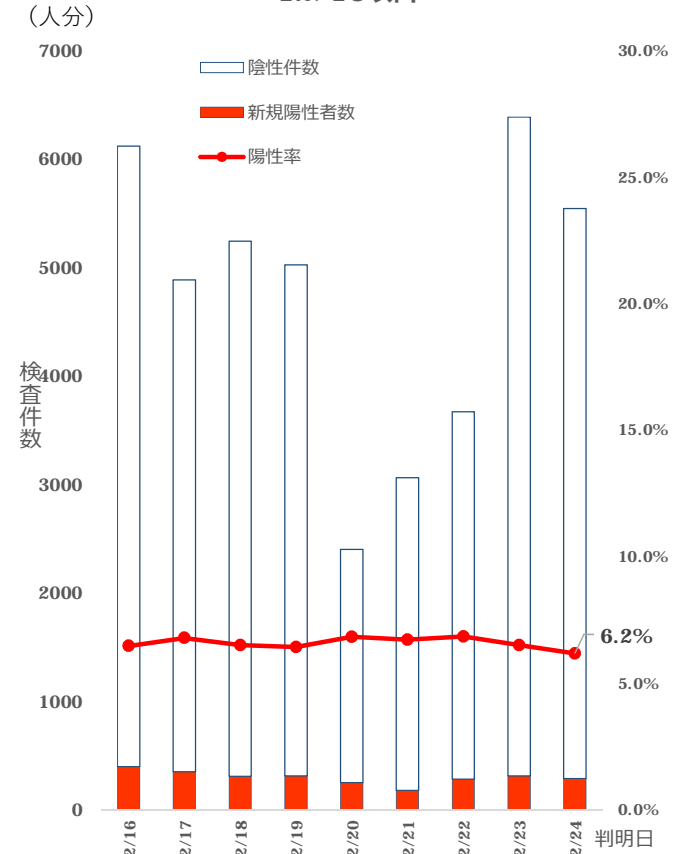
大阪の週・人口10万人あたりの新規陽性者数は、全国で東京都、神奈川県、広島県について4番目に高い。

検査件数と陽性率

12/15まで



12/16以降



※12月15日より国システム (G-MIS) を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

検査件数の増加により、陽性率は6%前後 (1週間平均) で推移。

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	7/31	8/31	9/17	10/8	11/11	11/20	11/24	12/3	12/14	12/24	
						23回会議	25回会議	26回会議	27回会議	28回会議	29回会議	30回会議	31回会議	32回会議		
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	1.79	0.71	1.10	0.75	1.75	1.31	1.63	1.03	0.92	0.97	12/4以降、1未満で推移するも 12/20以降、上昇傾向
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	109.43	55.29	41.71	28.71	107.00	157.57	218.57	226.86	170.43	142.00	12/16以降、150人未満で推移するも 12/21以降、上昇傾向
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	67.6%	58.5%	59.6%	59.2%	57.4%	62.7%	64.8%	61.1%	43.8%	55.4%	概ね50～60%以上で推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で 半数以上	—	—	—	1,142	643	536	330	1185	1874	2377	2620	2379	1934	12/16以降、微減傾向
	うち後半3日間		—	—	—	627	205	224	159	560	981	981	1131	922	884	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	12.94	7.29	6.07	3.74	13.43	21.24	26.94	29.69	26.96	21.92	同上
	【参考②】確定診断検査における陽性率の7日間移動平均	—	—	—	—	9.9%	5.2%	4.8%	3.4%	6.8%	8.9%	11.8%	9.3%	8.1%	6.2%	11/30以降、10%未満で推移
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床利用率	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が 点灯した日から起算して25 日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	10.1%	31.9%	16.5%	12.2%	30.6%	39.3%	50.0%	66.0%	75.7%	68.2%	12/15以降、大阪コロナ重症センター 運用開始により、60%台で推移
	【参考③】患者受入軽症中等症病床利用率	—	—	—	—	25.7%	39.4%	29.9%	17.1%	32.8%	44.7%	55.4%	53.7%	70.5%	65.5%	12/9以降、60%～70%台で推移
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数利用率	—	—	—	—	28.4%	10.2%	9.9%	11.4%	20.8%	31.2%	46.3%	35.2%	44.9%	32.4%	12/15以降、30%台で推移

【大阪府の主な取組状況】

- 7/31 (23回会議) イエローステージ2に移行(8/1～)、ミナミ地区の一部への施設休業等の要請(8/6～20)
- 8/31 (25回会議) イエローステージ1に移行(9/1～)、「5人以上の宴会等自粛要請」(8/1～)から「多人数での宴会等自粛要請」に変更(9/1～)
- 9/17 (26回会議) イベント開催制限の緩和(9/19～)
- 10/8 (27回会議) 「多人数での宴会等自粛要請」から「3密で唾液が飛び交う環境自粛要請」に変更(10/10～)
- 11/11 (28回会議) 「静かに飲食」「マスクの徹底」を要請(11/12～)
- 11/20 (29回会議) イエローステージ2に移行、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会の自粛要請(11/21～)
- 11/24 (30回会議) 大阪市北区、中央区の飲食店営業時間短縮要請(11/27～12/11)
- 12/3 (31回会議) レッドステージ1に移行、できる限り不要不急の外出自粛要請(12/4～15)、飲食店営業時間短縮要請の延長(～12/15)
- 12/14 (32回会議) 不要不急の外出自粛要請(12/16～29)、大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請(12/16～29)

(参考) 新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

【分科会の指標の考え方】

ステージの移行を検知する指標はあくまで目安。指標をもって機械的に判断するのではなく、これらの指標を総合的に判断。

※ステージIII「感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階」

ステージIV「爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階」

※ステージI・IIの指標設定はなし

	指標及び目安		7/31	8/31	9/17	10/8	11/11	11/20	11/24	12/3	12/14	12/24	12/24時点の	(参考) ステージIII	目安に対する		
			23回会議	25回会議	26回会議	27回会議	28回会議	29回会議	30回会議	31回会議	32回会議	32回会議	目安に対する状況			基準到達状況	状況
ステージIV	医療提供体制等の負荷	①病床のひっ迫具合	病床全体	・最大確保病床 (1615床) の占有率 50%以上	18.2%	30.3%	22.2%	13.0%	28.0%	38.2%	47.5%	49.2%	63.2%	63.0%	●	20%以上	●
				・現時点の確保病床数 (1542床) の占有率	23.4%	38.3%	27.9%	16.4%	32.5%	43.9%	54.6%	55.4%	71.2%	69.6%	—	25%以上	●
		うち、重症者用病床	・最大確保病床 (215床) の占有率 50%以上	8.8%	27.9%	14.4%	10.7%	29.3%	37.7%	47.9%	63.3%	72.6%	74.9%	●	20%以上	●	
			・現時点の確保病床数 (236床) の占有率	10.1%	31.9%	16.5%	12.2%	30.6%	39.3%	50.0%	66.0%	75.7%	68.2%	—	25%以上	●	
	②療養者数	人口10万人あたりの全療養者数25人以上	14.34	13.72	8.65	5.11	16.64	26.61	36.60	51.77	46.97	39.57	●	15人以上	●		
	監視体制	③PCR陽性率	10% ※1週間の平均	9.9%	5.2%	4.8%	3.4%	6.8%	8.9%	11.8%	9.3%	8.1%	6.2%	○	ステージIVと同基準	○	
感染の状況	④新規報告数	25人/10万人/週 以上	12.94	7.29	6.07	3.74	13.43	21.24	26.94	29.69	26.96	21.92	○	15人以上	●		
	⑤直近一週間と先週一週間の比較	直近一週間が先週一週間より多い	直近一週間	1,142	643	536	330	1,185	1,874	2,377	2,620	2,379	1,934	○	ステージIVと同基準	○	
			先週一週間	670	985	498	398	843	1,385	1,643	2,410	2,462	2,332				
	⑥感染経路不明割合	50% ※1週間の平均	67.1%	60.2%	54.5%	60.9%	63.2%	58.6%	64.4%	60.6%	48.9%	51.4%	●	ステージIVと同基準	●		

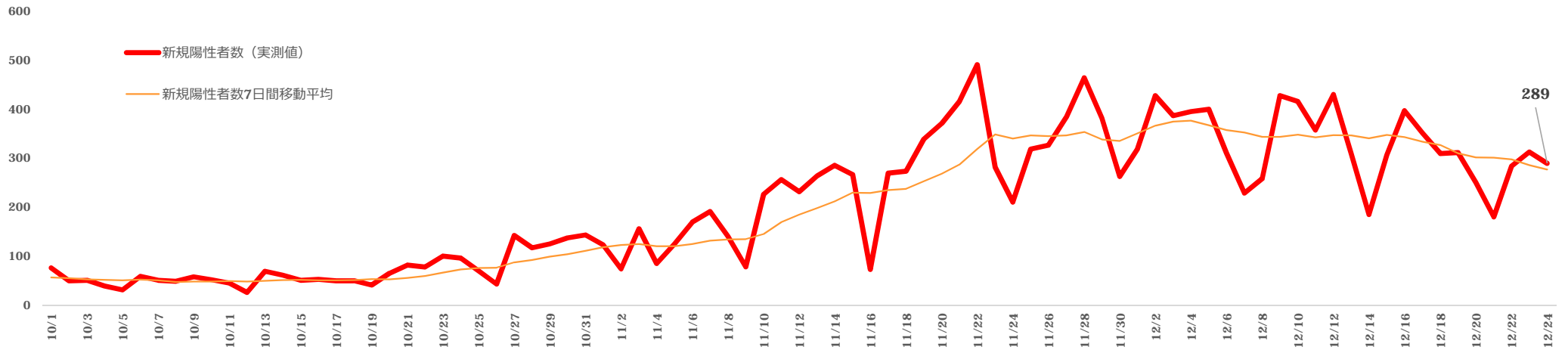
※重症者用病床に関する占有率は、大阪府基準により算出。

●：基準外 ○：基準内

【大阪府の主な取組状況】

7/31 (23回会議)	イエローステージ2に移行 (8/1～)、ミナミ地区の一部への施設休業等の要請 (8/6～20)
8/31 (25回会議)	イエローステージ1に移行 (9/1～)、「5人以上の宴会等自粛要請」(8/1～)から「多人数での宴会等自粛要請」に変更 (9/1～)
9/17 (26回会議)	イベント開催制限の緩和 (9/19～)
10/8 (27回会議)	「多人数での宴会等自粛要請」から「3密で唾液が飛び交う環境自粛要請」に変更 (10/10～)
11/11 (28回会議)	「静かに飲食」「マスクの徹底」を要請 (11/12～)
11/20 (29回会議)	イエローステージ2に移行、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会の自粛要請 (11/21～)
11/24 (30回会議)	大阪市北区、中央区の飲食店営業時間短縮要請 (11/27～12/11)
12/3 (31回会議)	レッドステージ1に移行、できる限り不要不急の外出自粛要請 (12/4～15)、飲食店営業時間短縮要請の延長 (～12/15)
12/14 (32回会議)	不要不急の外出自粛要請 (12/16～29)、大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請 (12/16～29)

新規陽性者数と入院・療養者数

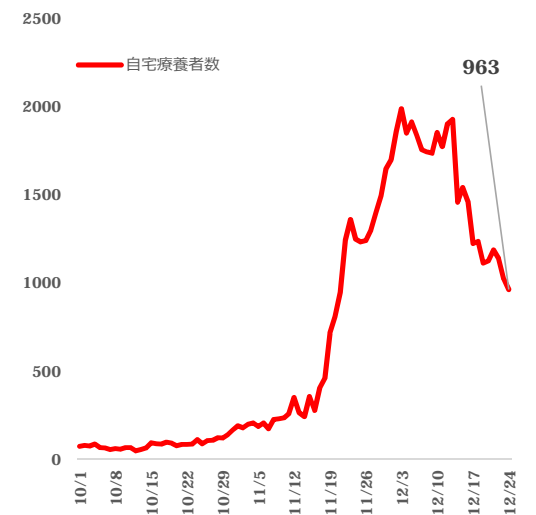
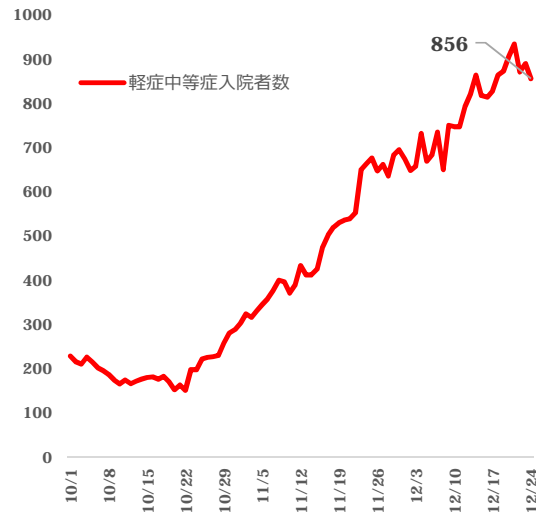


入院患者 (重症)

入院患者 (軽症中等症)

宿泊療養者

自宅療養者



入院・療養状況（12月24日時点）

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	60床	500床	400室
	フェーズ2	80床	800床	800室
	フェーズ3	150床	1,000床	1,036室
	フェーズ4	215床	1,400床	—
確保数等 ※重症病床、軽症中等症病床について、 11月19日からフェーズ4へ移行		確保数236床	確保数1,306床	2,019室
入院・療養者数		161人	856人	655人
(使用率：入院・療養者数 ／確保病床・室数)		68.2% (161/236)	65.5% (856/1,306)	32.4% (655/2,019)
(運用率：入院・療養者数 ／実運用病床・室数)		77.4% (161/208) うち、大阪コロナ重症センター (10/20)	73.5% (856/1,165)	32.4% (655/2,019)

※ 別途、自宅療養 963人

推定感染日別陽性者数

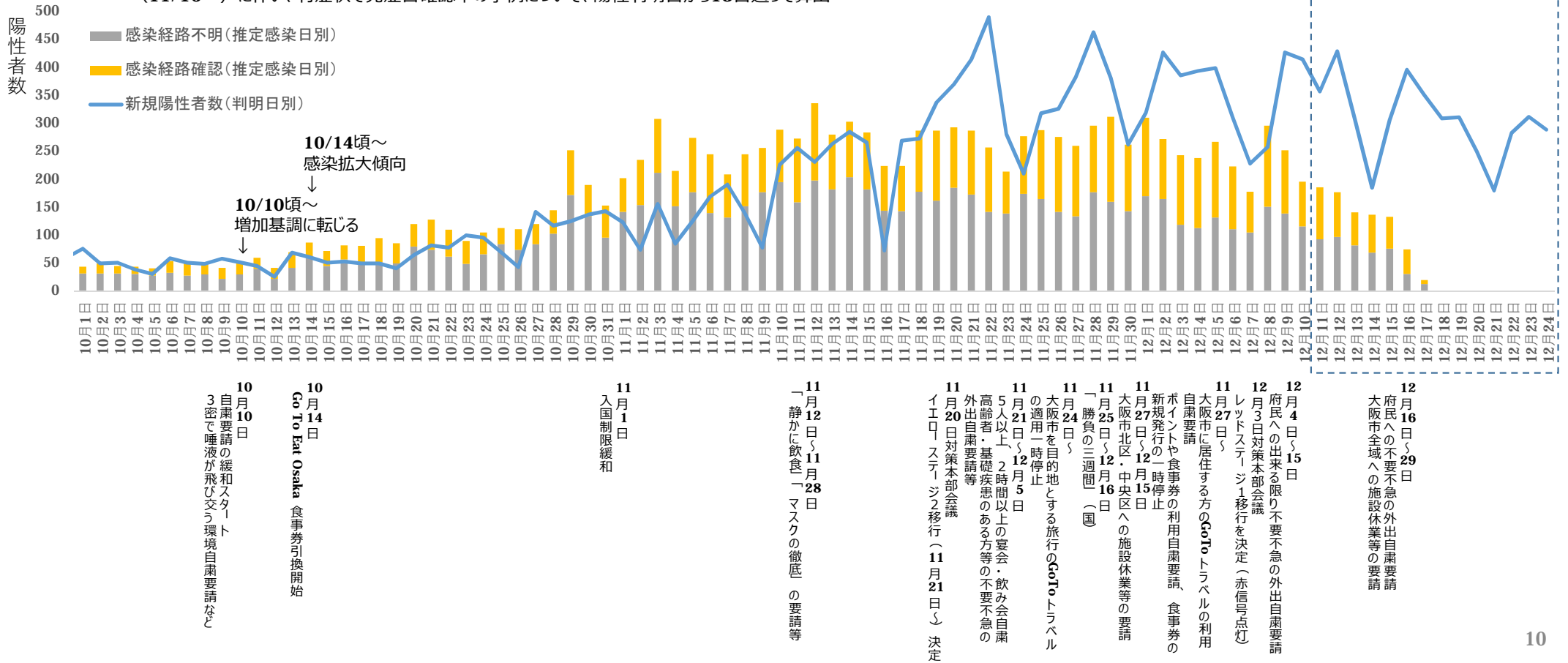
(10月1日以降12月24日までの判明日分) (N=14,627名(調査中、不明、無症状2,881名を除く))

※推定感染日：発症日から6日前と仮定

潜伏期間は1-14日間(一般的には約5-6日)とされていることから、6日前と仮定
(「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.5.25変更)」より)

※府独自のシステム(kintone)から国の情報管理支援システム(HER-SYS、G-MIS)への移行
(11/16~)に伴い、有症状で発症日確認中の事例について、陽性判明日から13日遡って算出

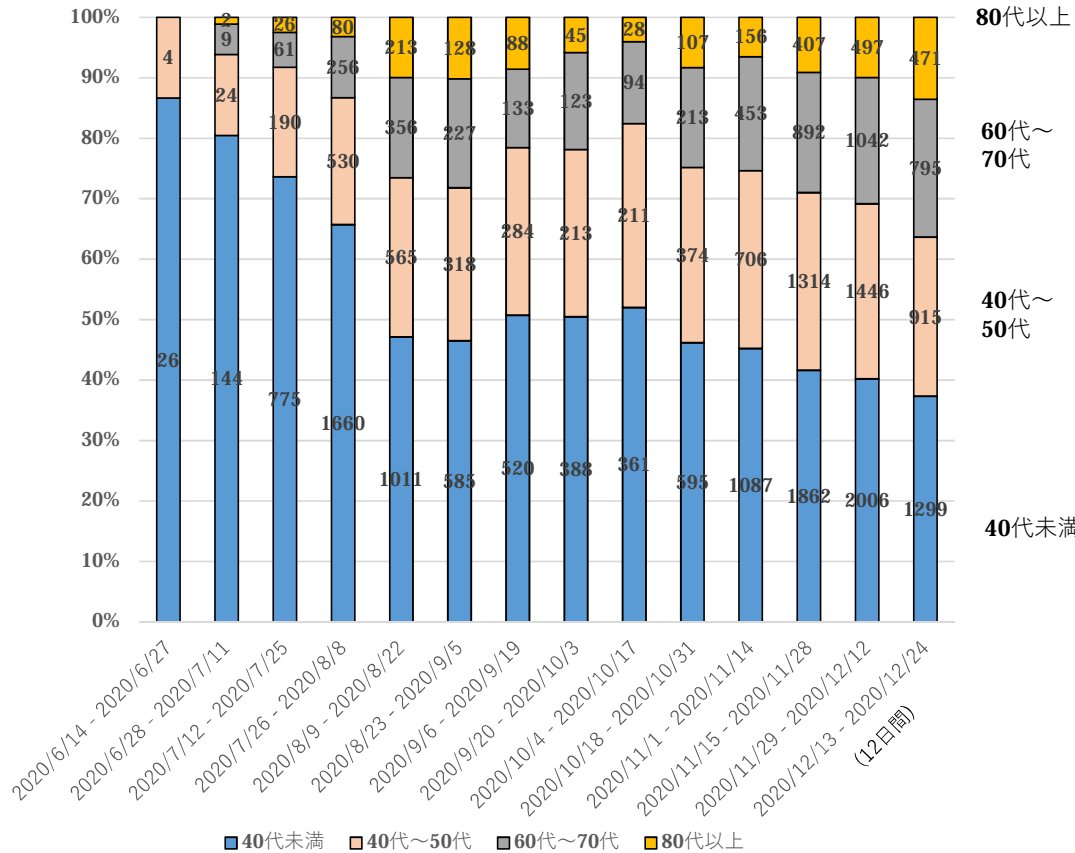
感染から発症まで6日、
発症から陽性判明まで7日
と仮定すると、
概ねこの期間は今後、新規
陽性者の発生に伴い、増加。



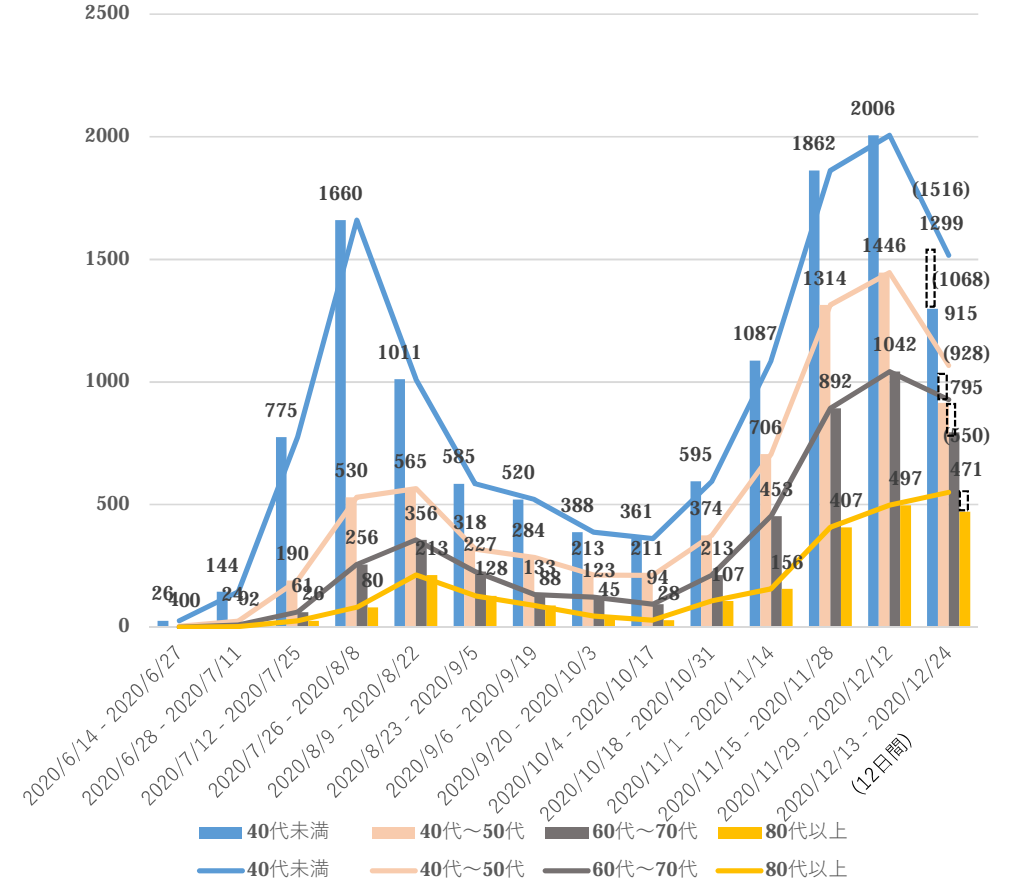
陽性者の年齢区分

(6月14日以降12月24日までに判明した26,315事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)

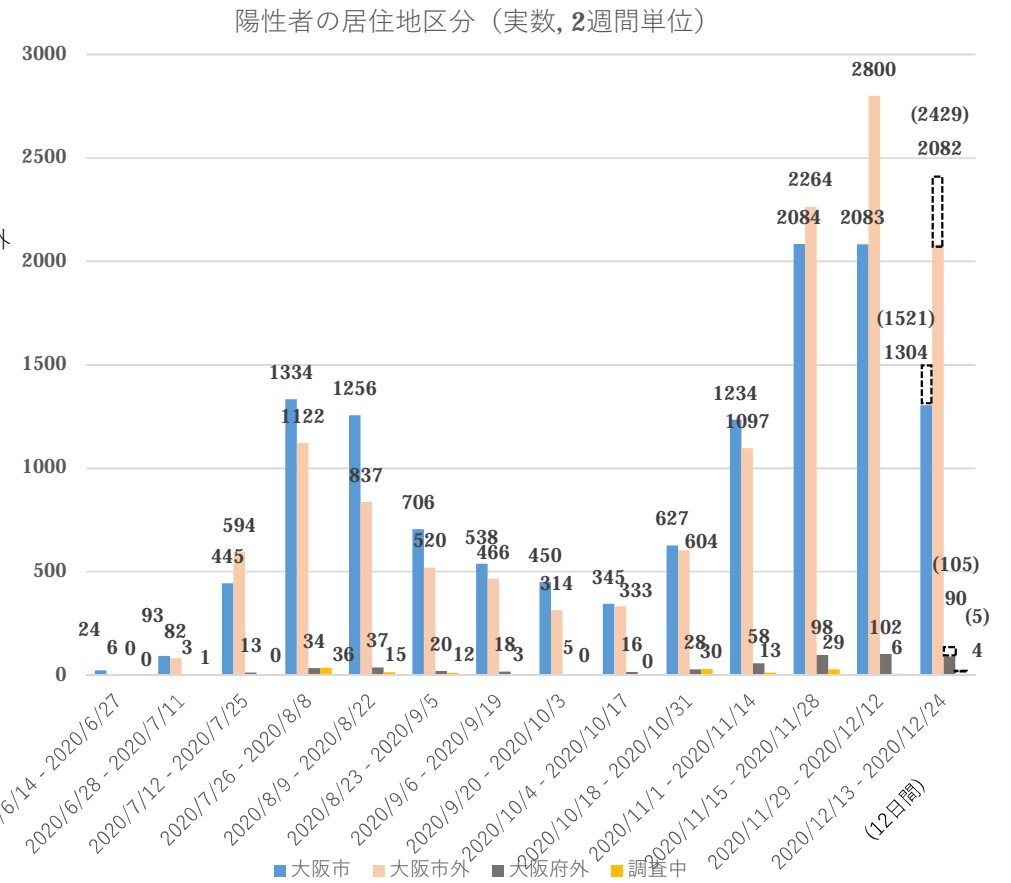
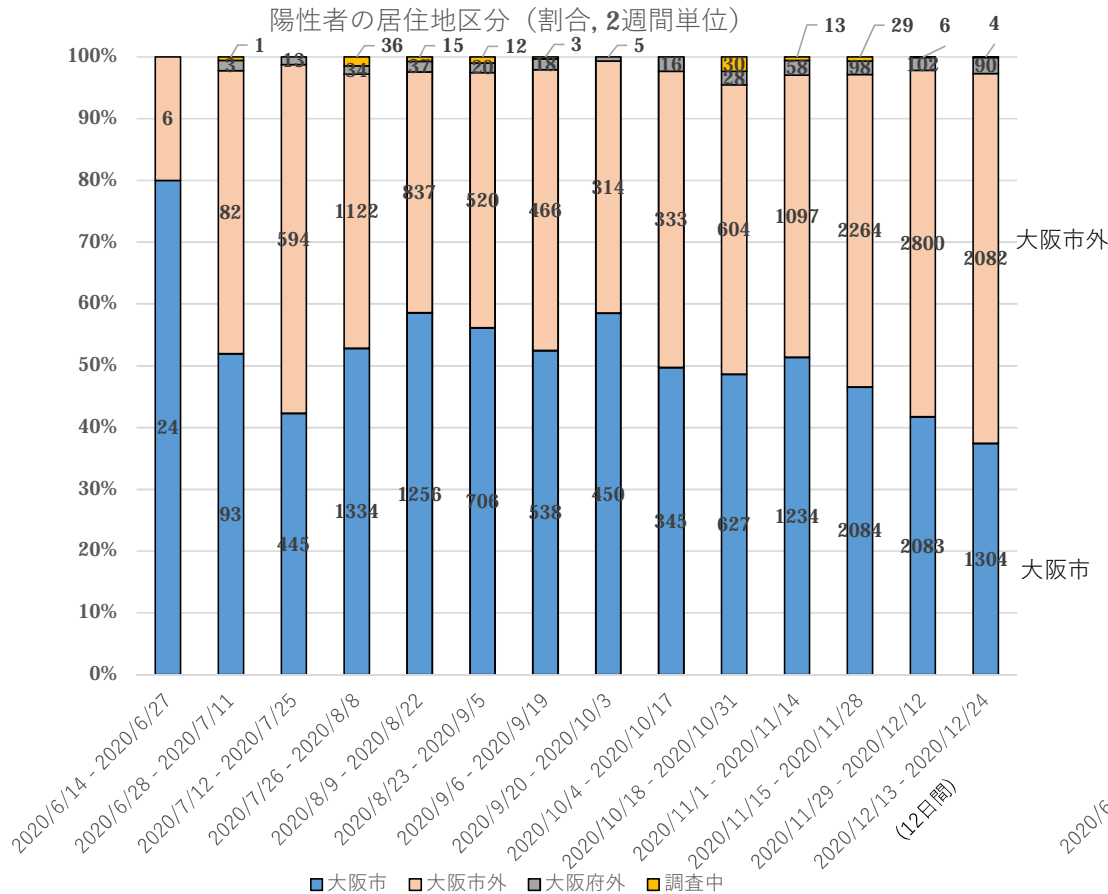


第三波発生当初は60代以上の割合が2割弱であったが、直近12日間では4割弱まで増加

※カッコ書きは、14日間の推定値

陽性者の居住地

(6月14日以降12月24日までに判明した26,315事例の状況)



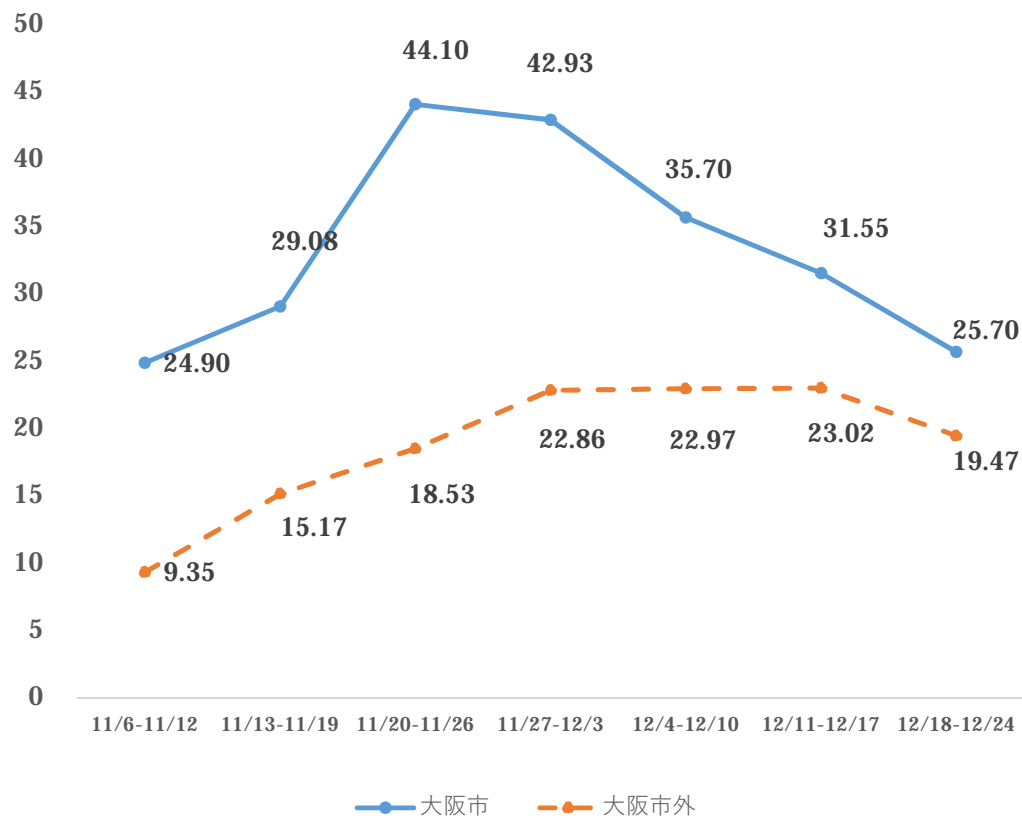
大阪市内の割合の減少が続いている。

※カッコ書きは、14日間の推定値

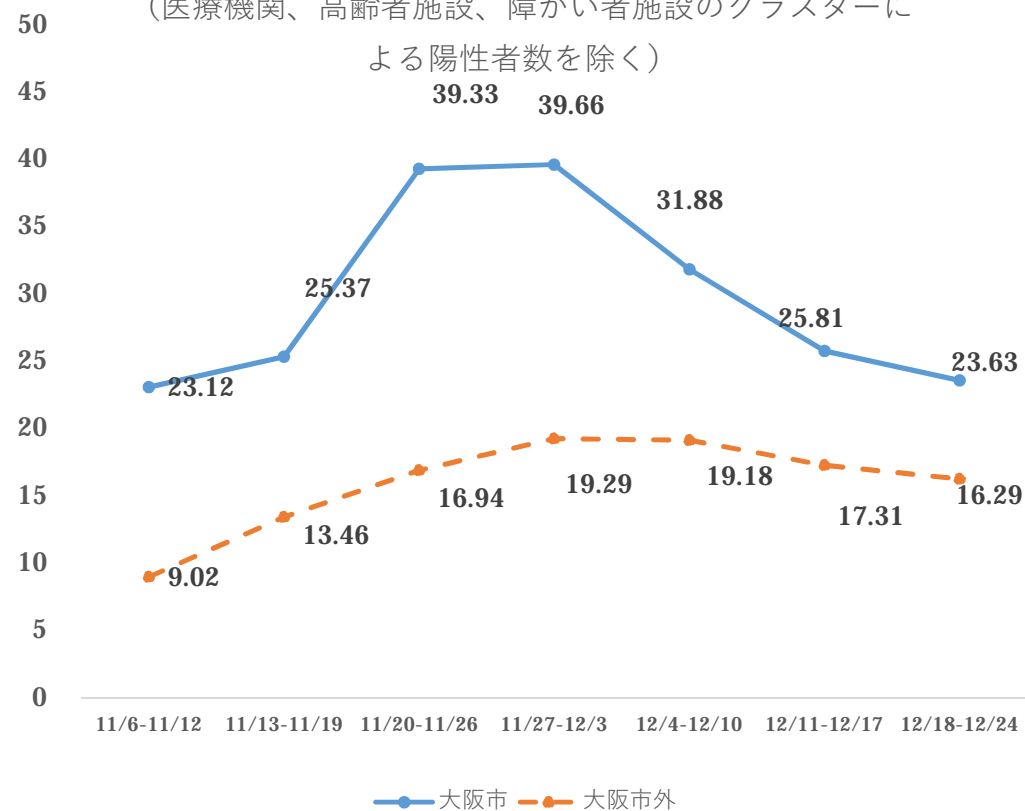
大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

週あたりの人口10万人あたりの新規陽性者数



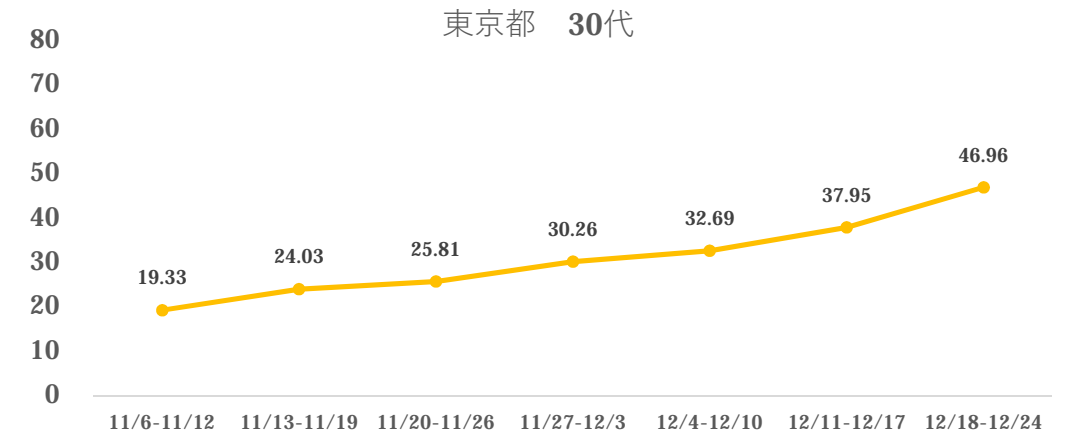
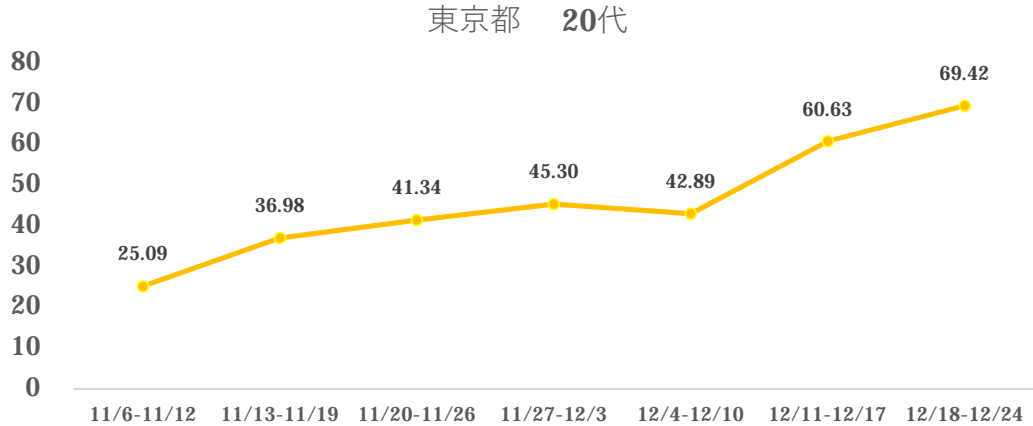
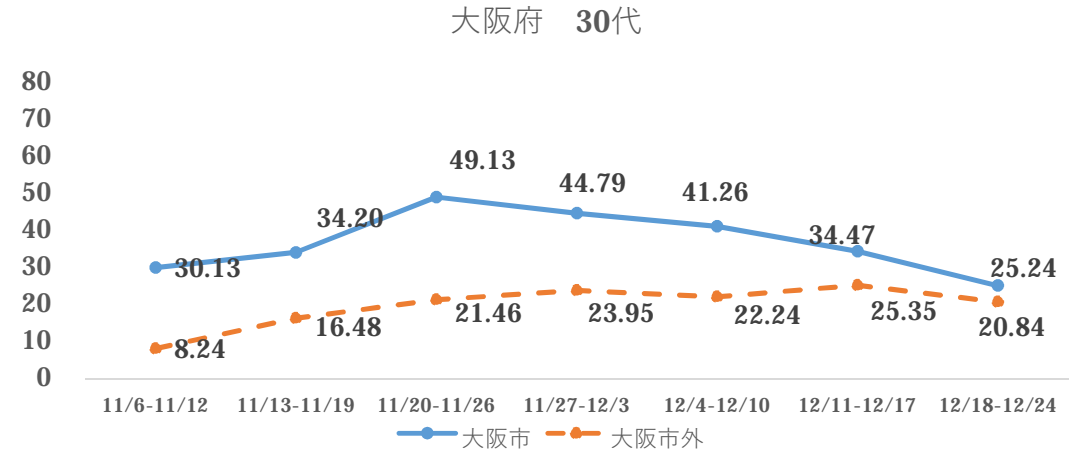
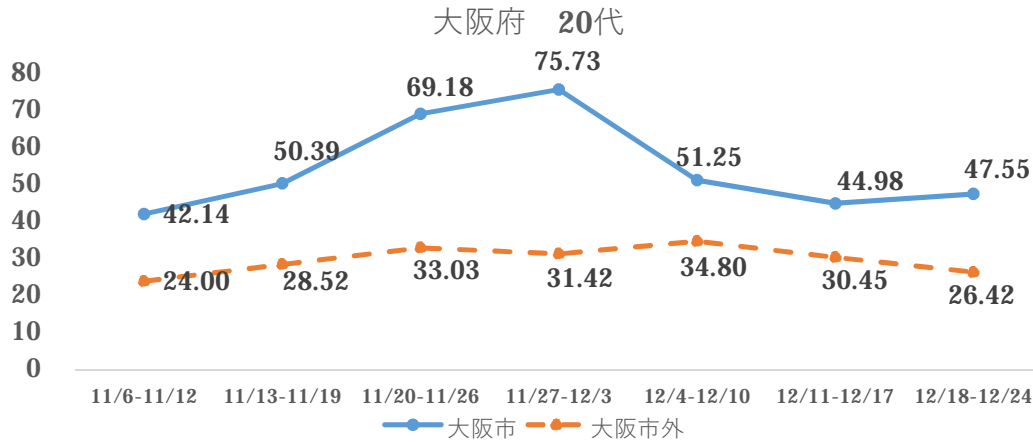
【参考】週あたりの人口10万人あたりの新規陽性者数
 （医療機関、高齢者施設、障がい者施設のクラスターによる陽性者数を除く）



大阪市内の週・人口10万人あたりの新規陽性者数は直近4週間で減少したが、市外と比較すると1.3倍と多い。

東京都と大阪市・外 年代別陽性者比較 (人口10万人あたり)

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

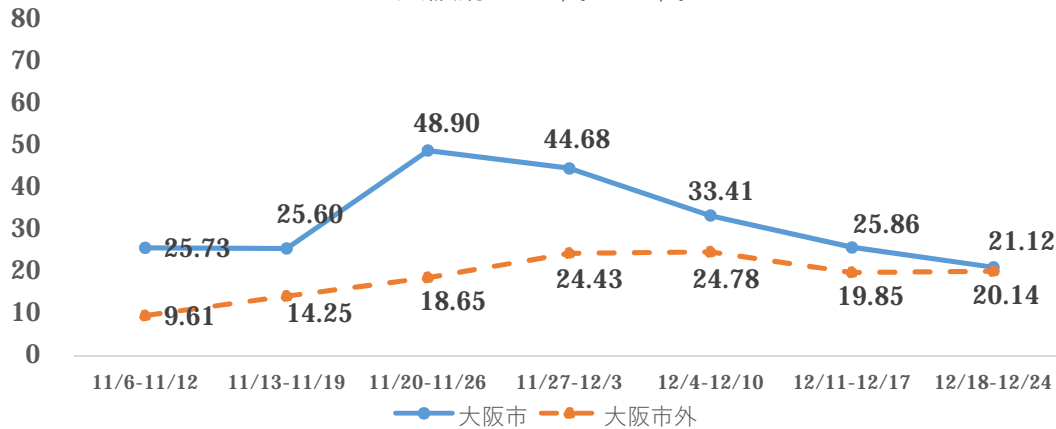


- ・大阪市内の20代、30代は時短要請前より減少しているが、市内20代は、直近1週間で増加。
 市外20代、30代は微減傾向。
- ・東京都は、20代の陽性者が急増。

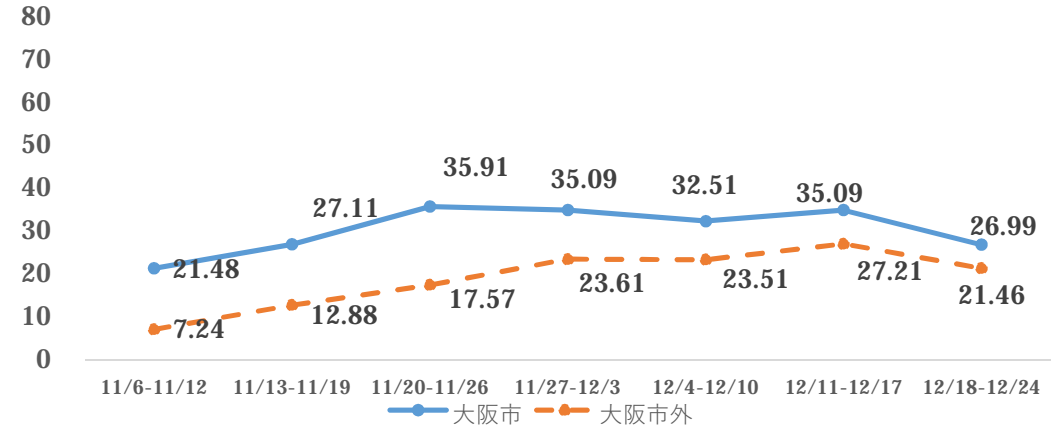
東京都と大阪市・外 年代別陽性者比較 (人口10万人あたり)

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

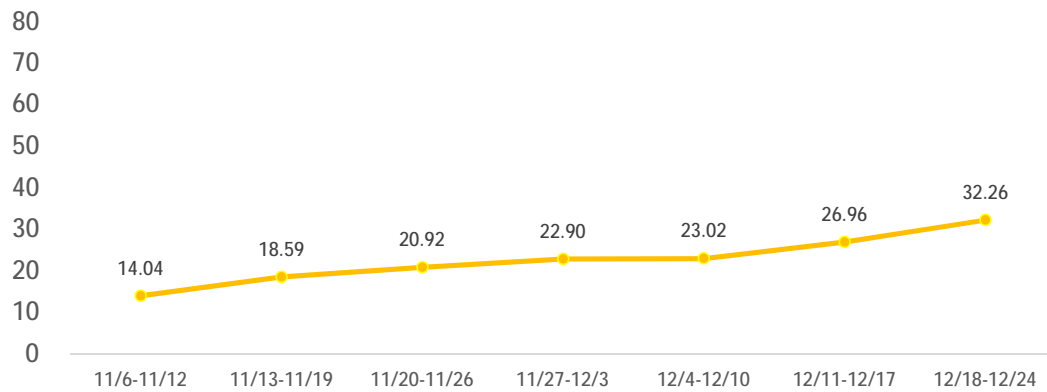
大阪府 40代～50代



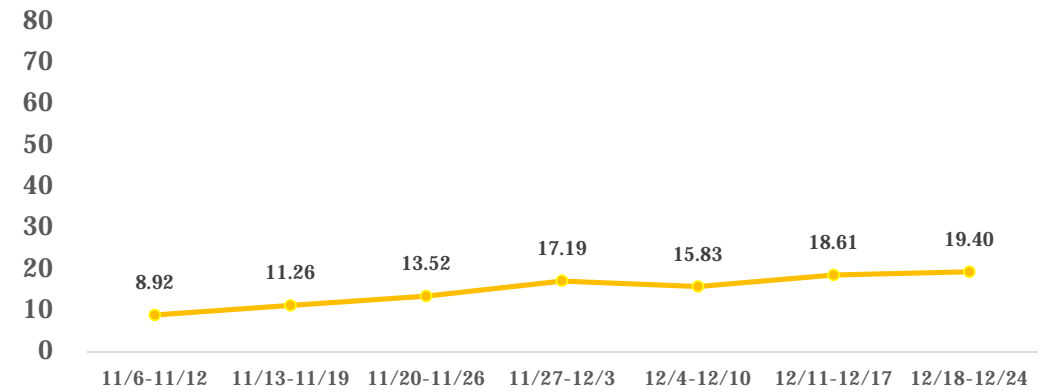
大阪府 60代以上



東京都 40代～50代



東京都 60代以上

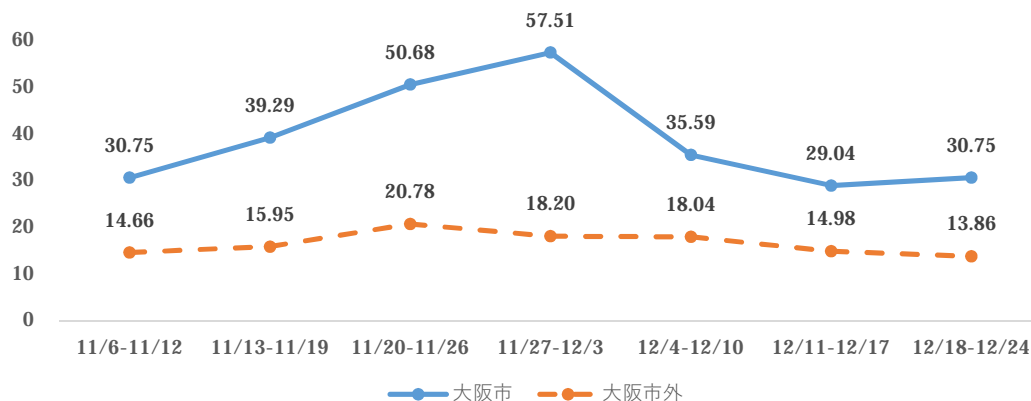


- ・市内の40代～50代は11月中旬をピークに減少。市外は微減。
- ・60代以上について、市内、市外ともに微減傾向。

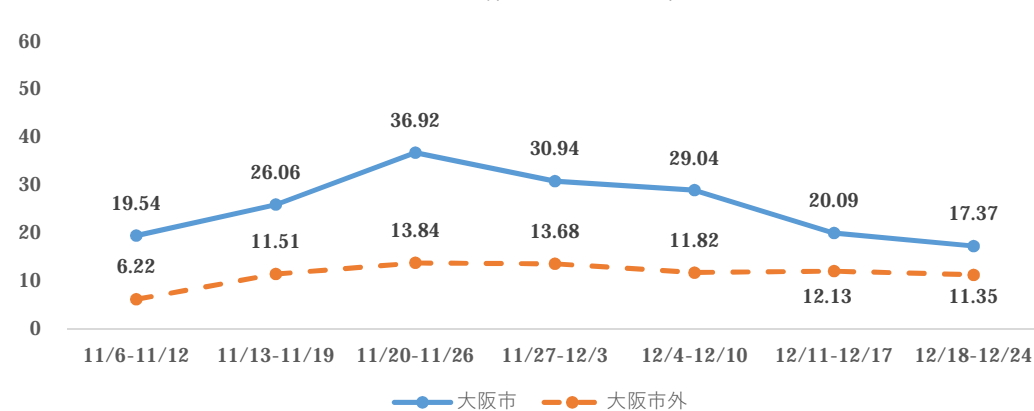
大阪市・外（感染経路不明）年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

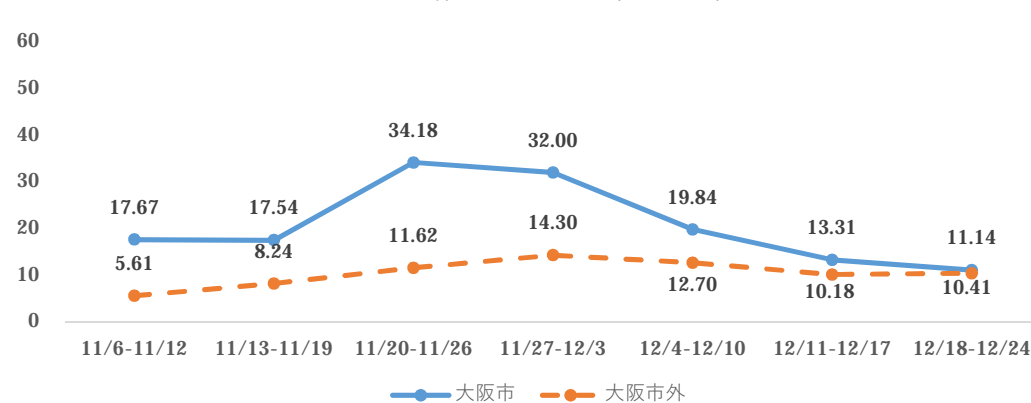
感染経路不明者 20代



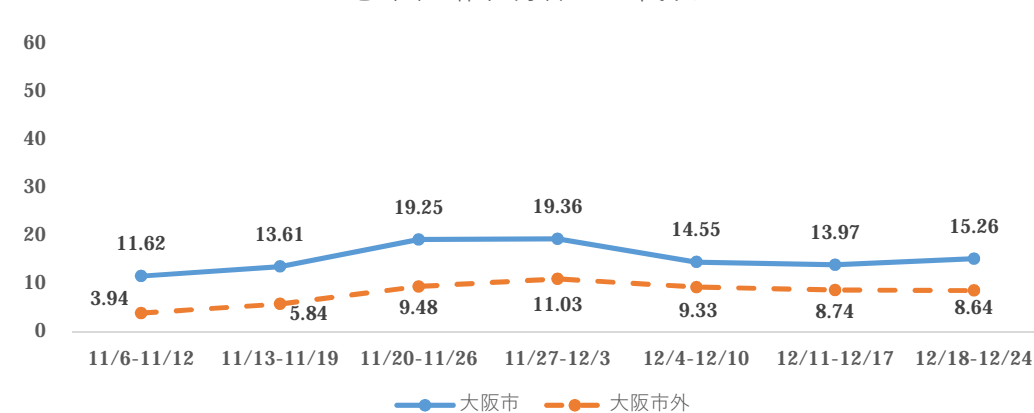
感染経路不明者 30代



感染経路不明者 40代～50代



感染経路不明者 60代以上

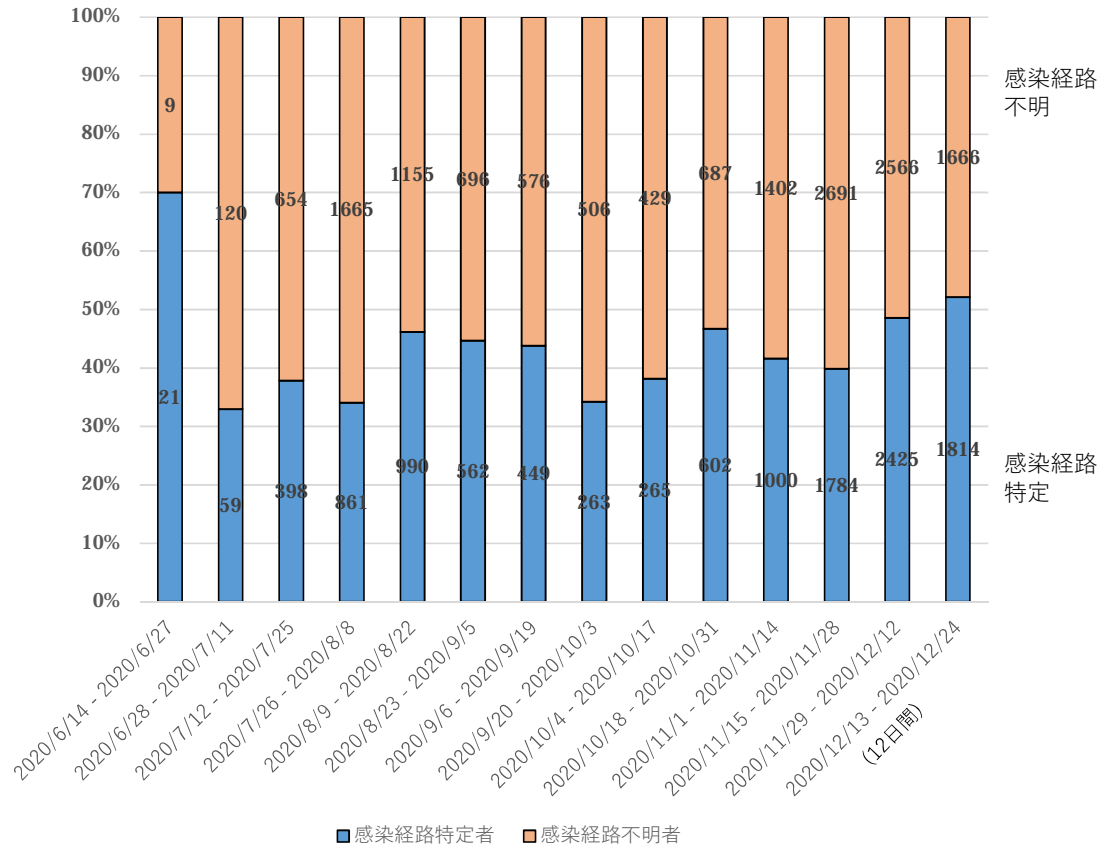


市内感染経路不明の陽性者数は20代～50代の各世代ともに減少しているが、市内20代は直近1週間で増加。
市内60代以上は微減傾向にあったが、直近1週間で増加。

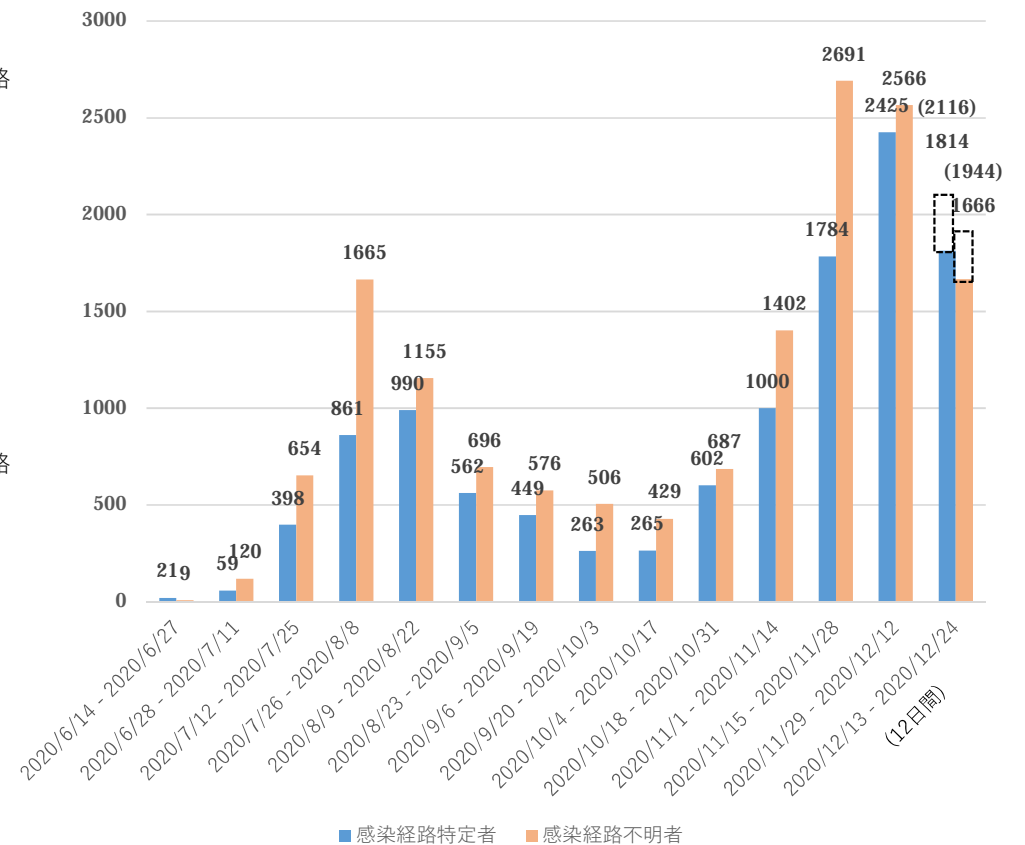
陽性者の感染経路の状況

(6月14日以降12月24日までに判明した26,315事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)



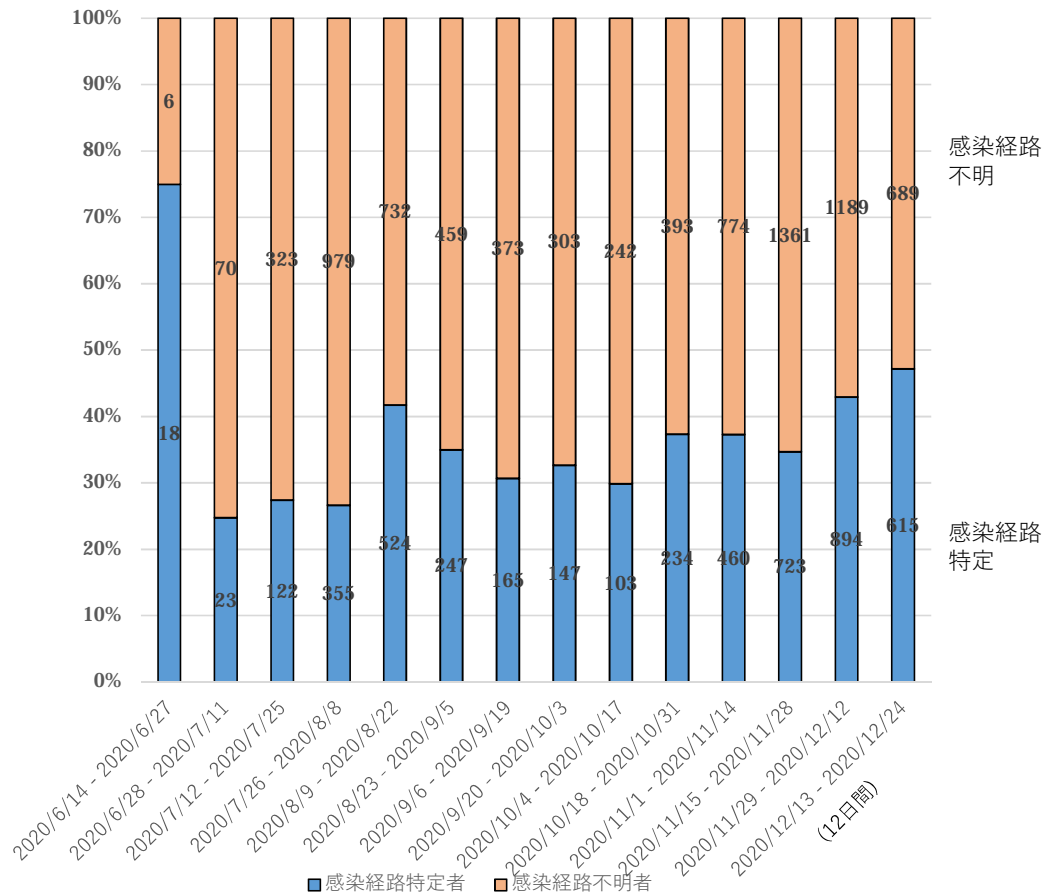
※カッコ書きは、14日間の推定値

感染経路不明の割合は、第三波発生当初は6割強であったが、直近12日間では5割弱に減少。

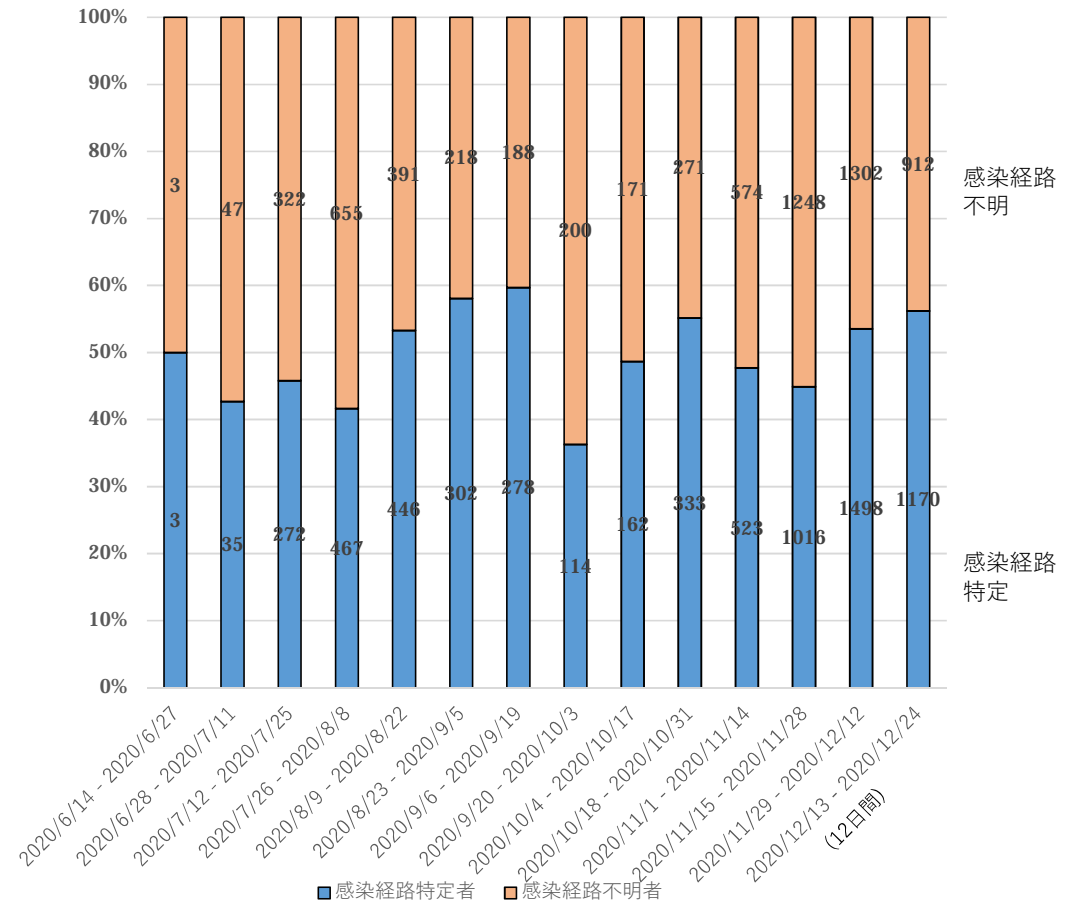
陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

感染経路の状況（大阪市内）



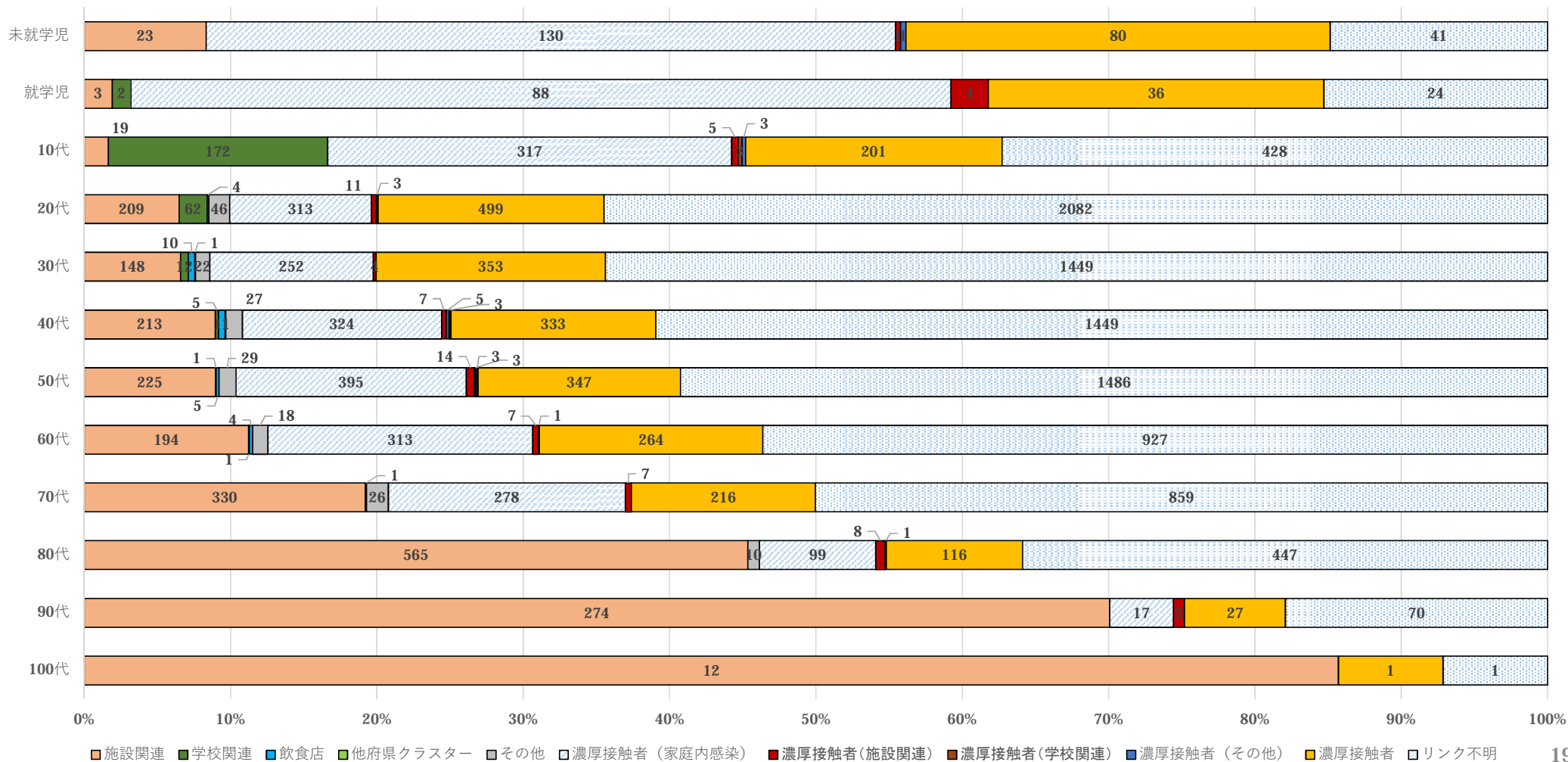
感染経路の状況（大阪市外）



大阪市内における感染経路不明の割合は、第三波発生当初は7割であったが、直近12日間では5割強に減少。ただし、市外4割強に比べると、多い。

年代別感染経路（第三波）

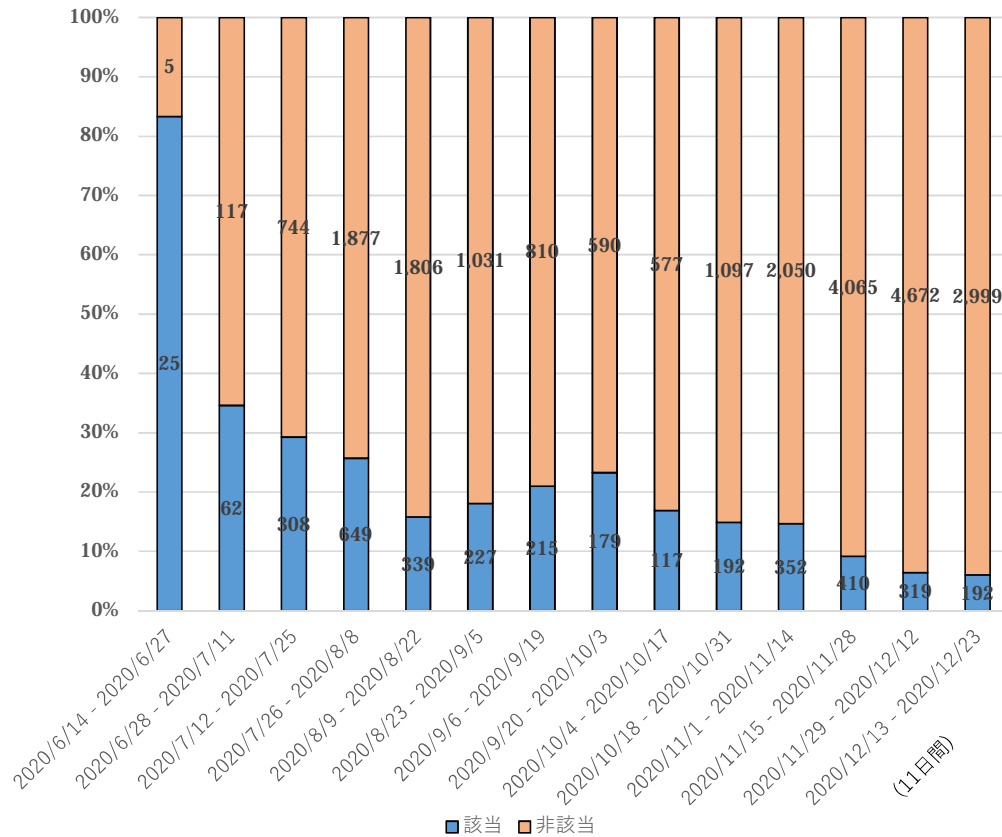
（10月10日以降12月24日までに判明した17,044事例の状況）



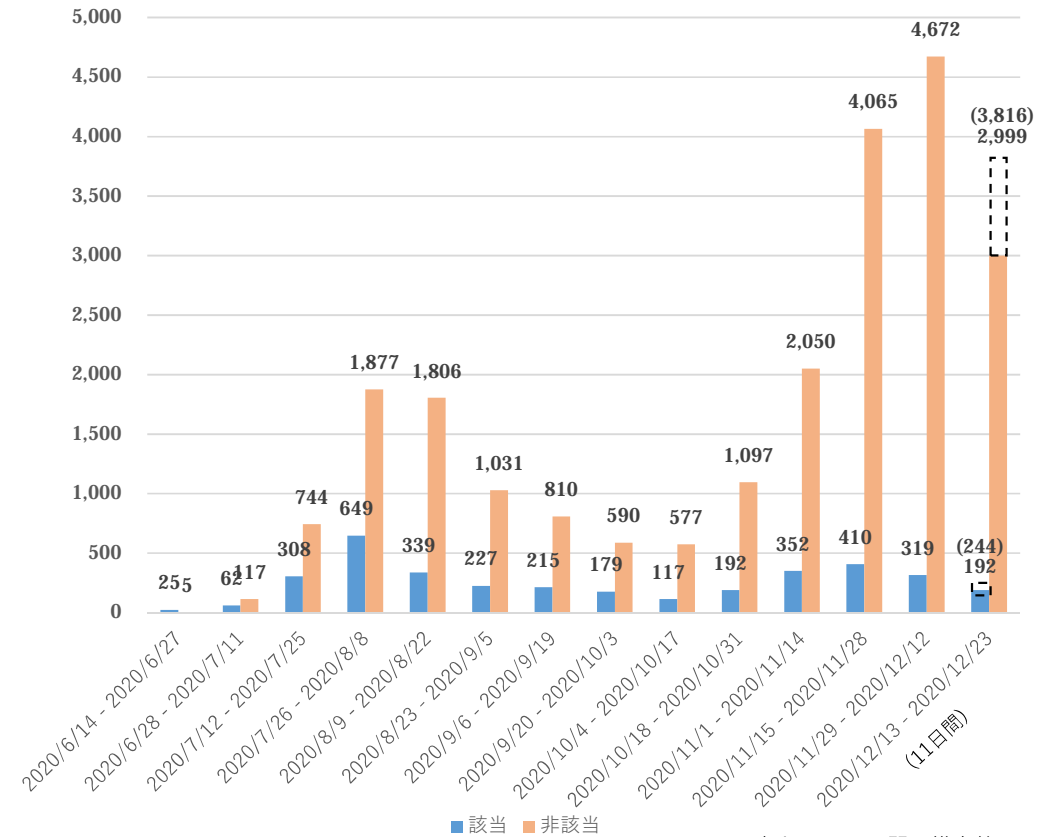
夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

（6月14日以降12月23日までに判明した26,026事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）



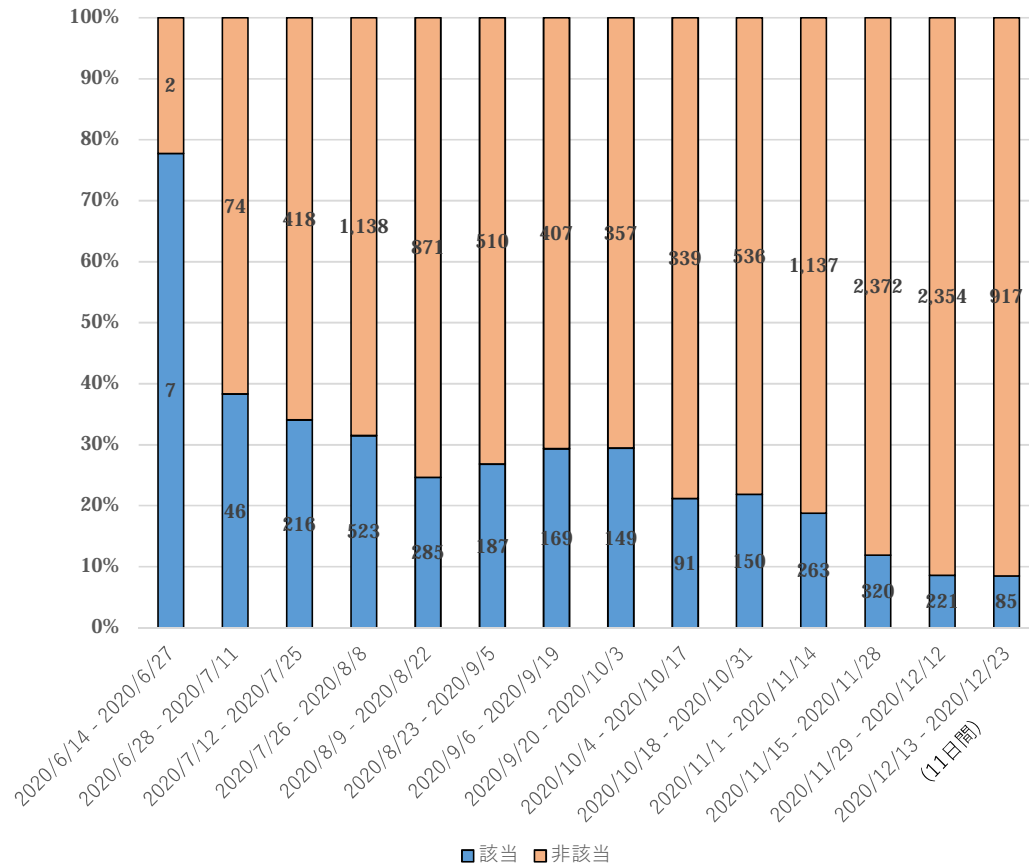
※カッコ書きは、14日間の推定値

夜の街の関係者及び滞在者の割合は減少傾向にあるが、第三波発生当初の人数までは減少していない。

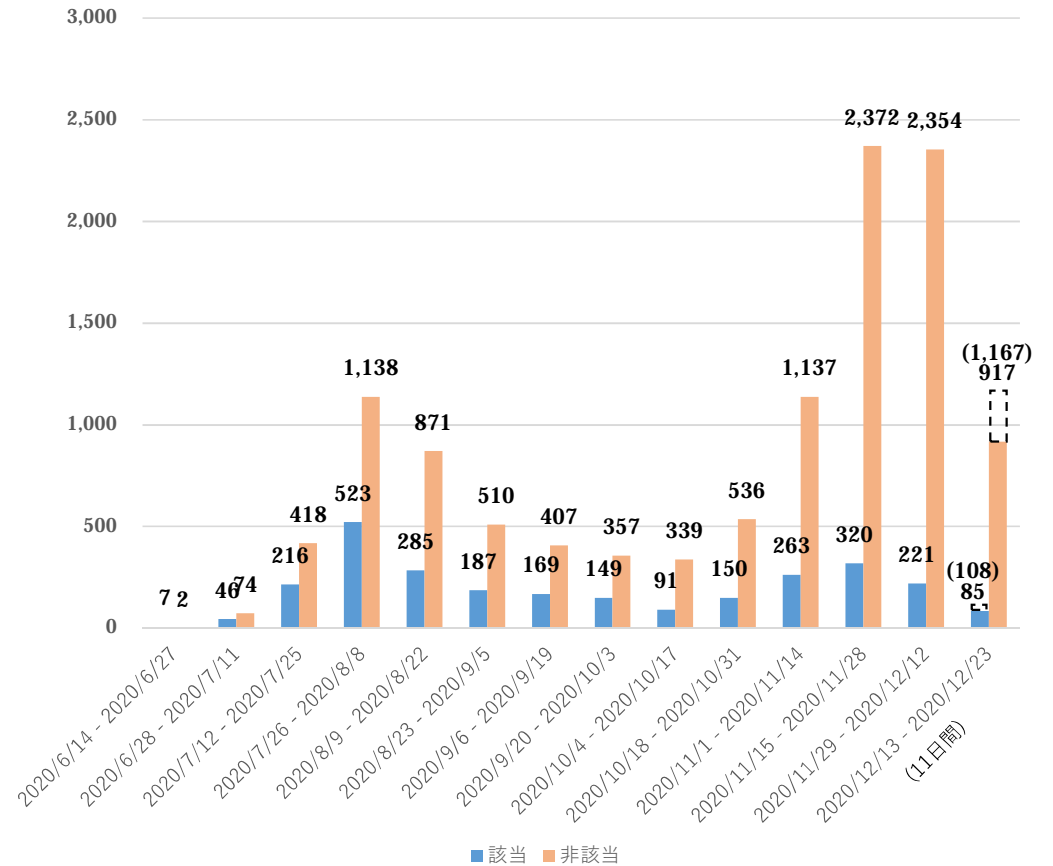
夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明者における該当者）

（6月14日以降12月23日までに判明した感染経路不明者14,144事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：割合）



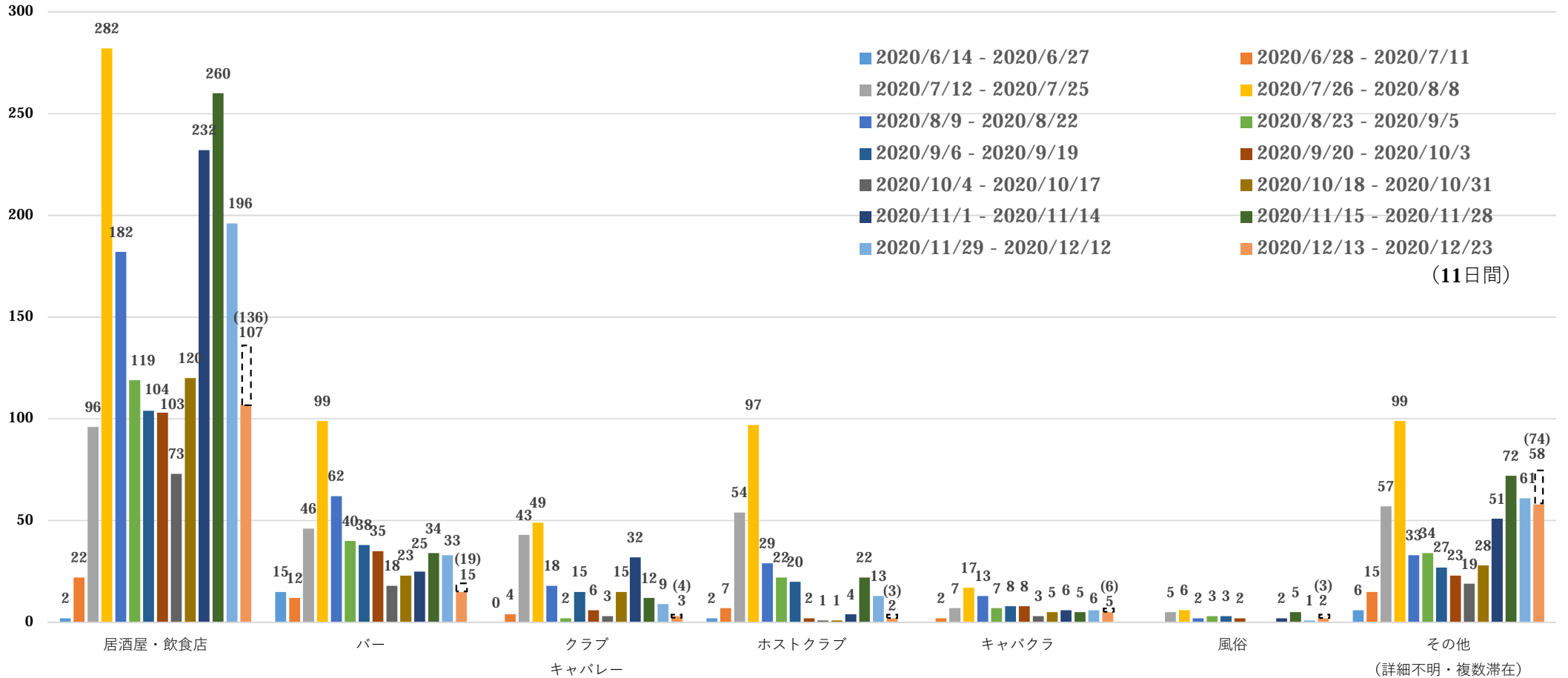
夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：実数）



※カッコ書きは、14日間の推定値 21

夜の街の滞在分類別の状況

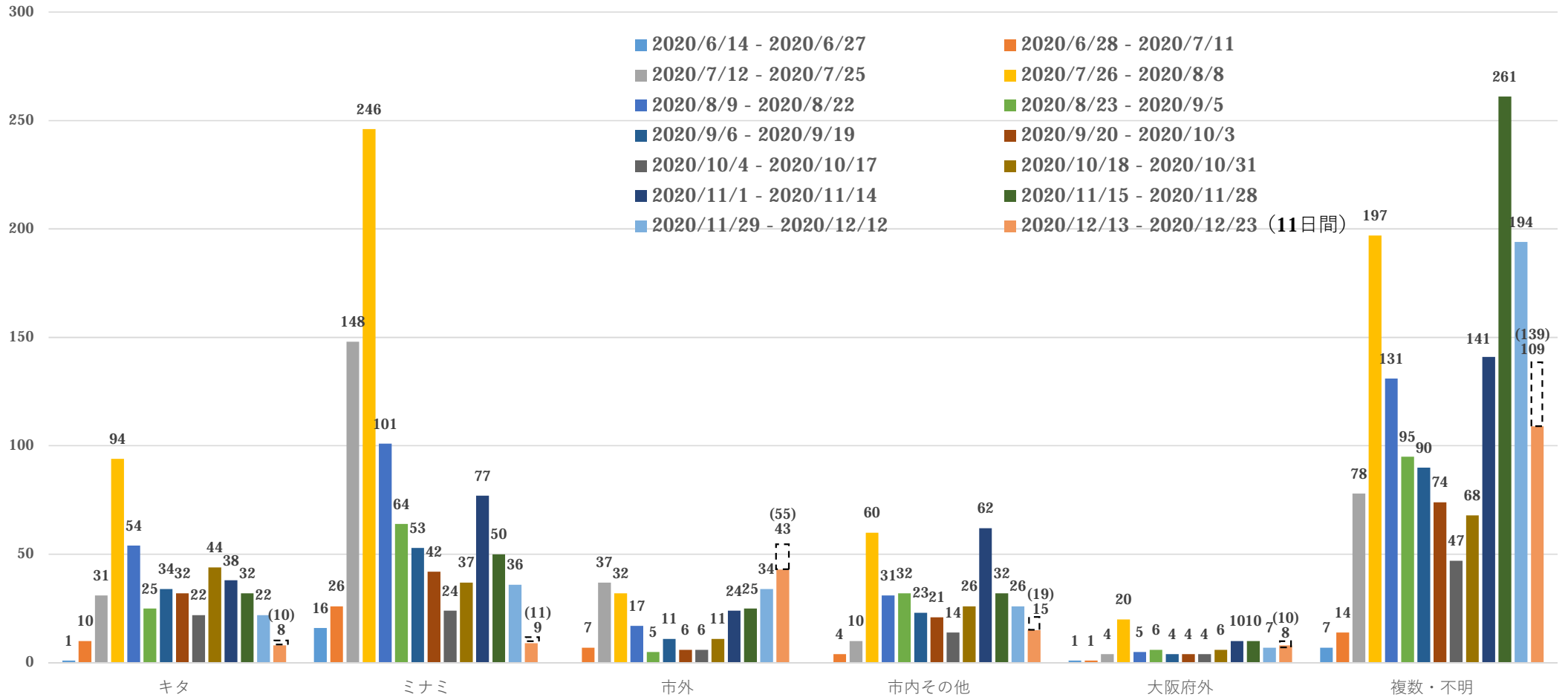
(6月14日以降12月23日までに判明した3,586事例の状況)



※カッコ書きは、14日間の推定値 22

夜の街の滞在エリア別の状況

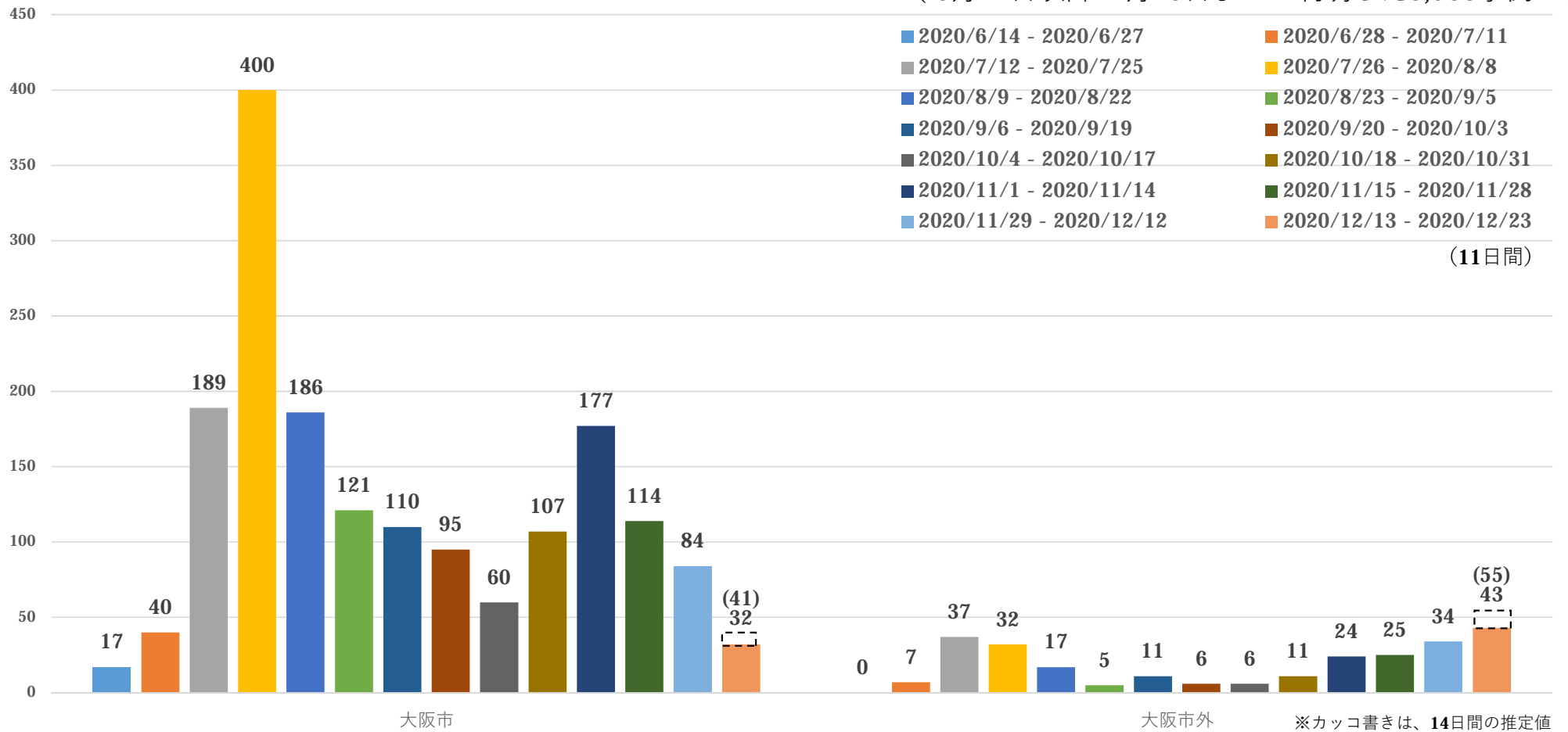
(6月14日以降12月19日までに判明した3,586事例の状況)



※カッコ書きは、14日間の推定値

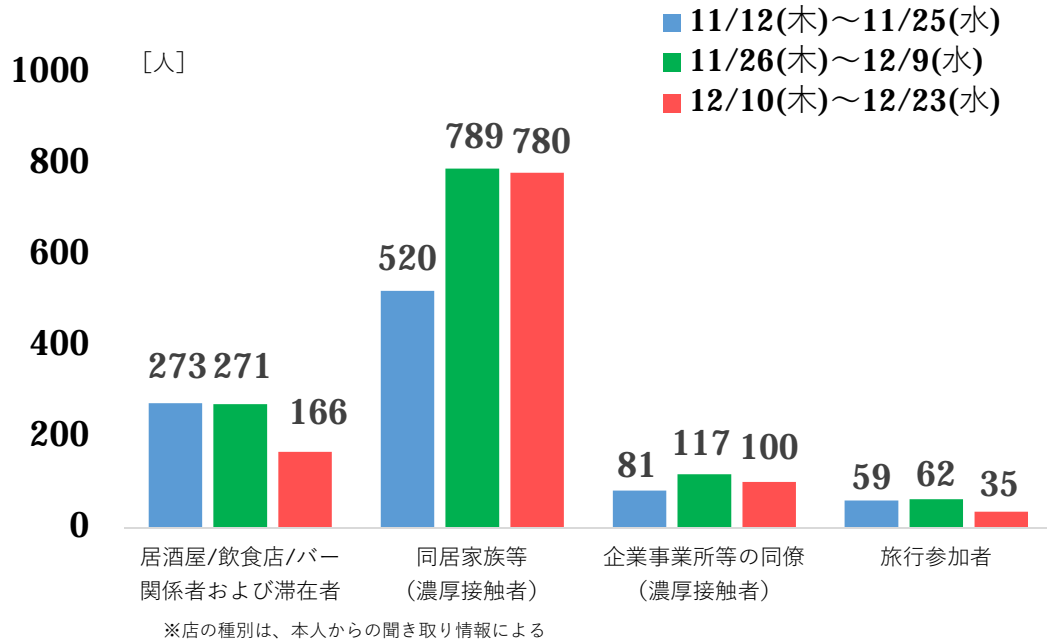
夜の街の滞在エリア別の状況

(6月14日以降12月19日までに判明した3,586事例の状況)



状況別の陽性者、クラスターの発生状況

● 状況別の陽性者



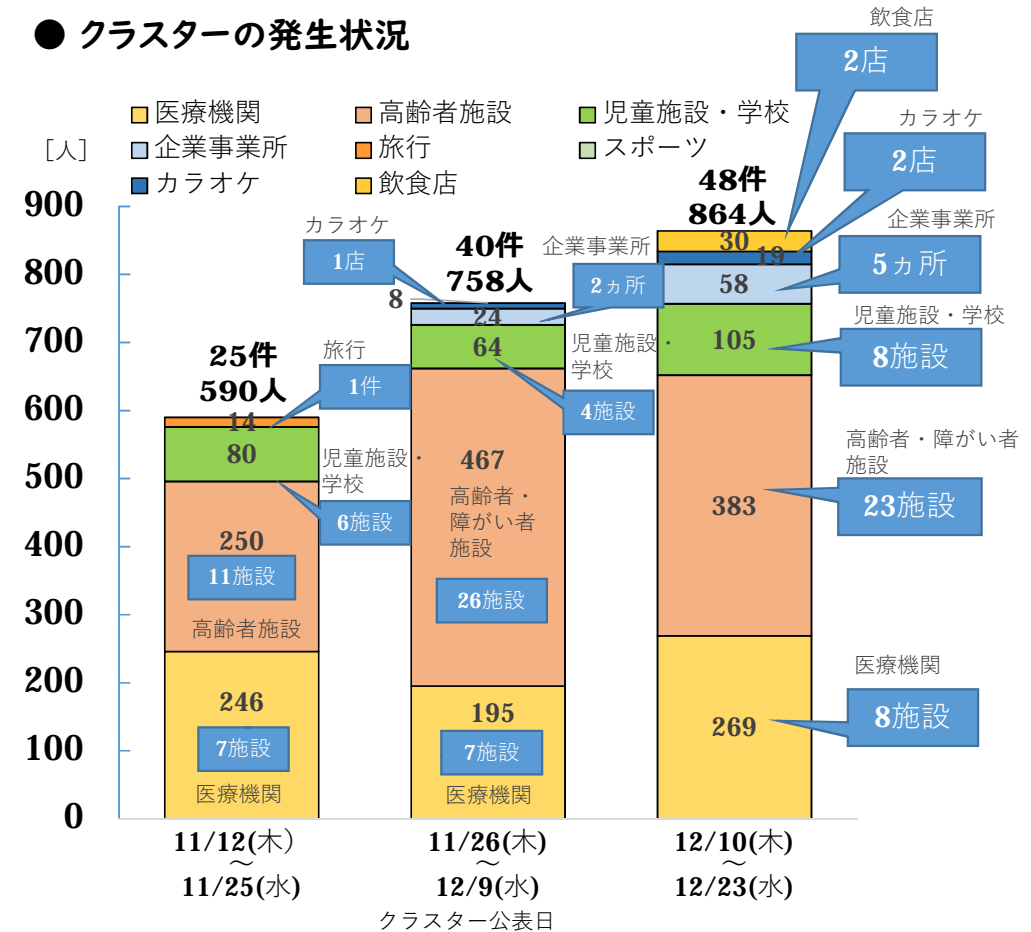
【全陽性者に占める割合】

期間	居酒屋/飲食店/バー関係者および滞在者	同居家族等(濃厚接触者)	企業事業所等の同僚(濃厚接触者)	旅行参加者
11/12-11/25	6.7%	12.7%	2.0%	1.4%
11/26-12/9	5.5%	15.9%	2.4%	1.2%
12/10-12/23	3.8%	17.8%	2.3%	0.8%

新規陽性者に占める同居家族等の割合が増加傾向。

※店の種別は、本人からの聞き取り情報による

● クラスターの発生状況



※全陽性者数：11/12-11/25 4,082名 11/26-12/9 4,962名 12/10-12/23 4,392名

クラスターの発生状況

第一波のクラスターの発生状況
(1月29日以降6月13日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	割合
1	ライブ参加者	4施設	48	14.1%
2	大学の関係者	1大学	8	2.4%
3	医療機関関連	6医療機関	284	83.5%
計			340	100%

第二波のクラスターの発生状況
(6月14日以降10月9日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	割合
1	飲食店関連	5店	45	5.4%
2	大学・学校関連	3校	48	5.7%
3	医療機関関連	10医療機関	295	35.1%
4	高齢者施設・障がい者施設関連	23施設	389	46.3%
5	その他	4件	63	7.5%
計			840	100%

第三波のクラスターの発生状況
(10月10日以降12月23日まで)

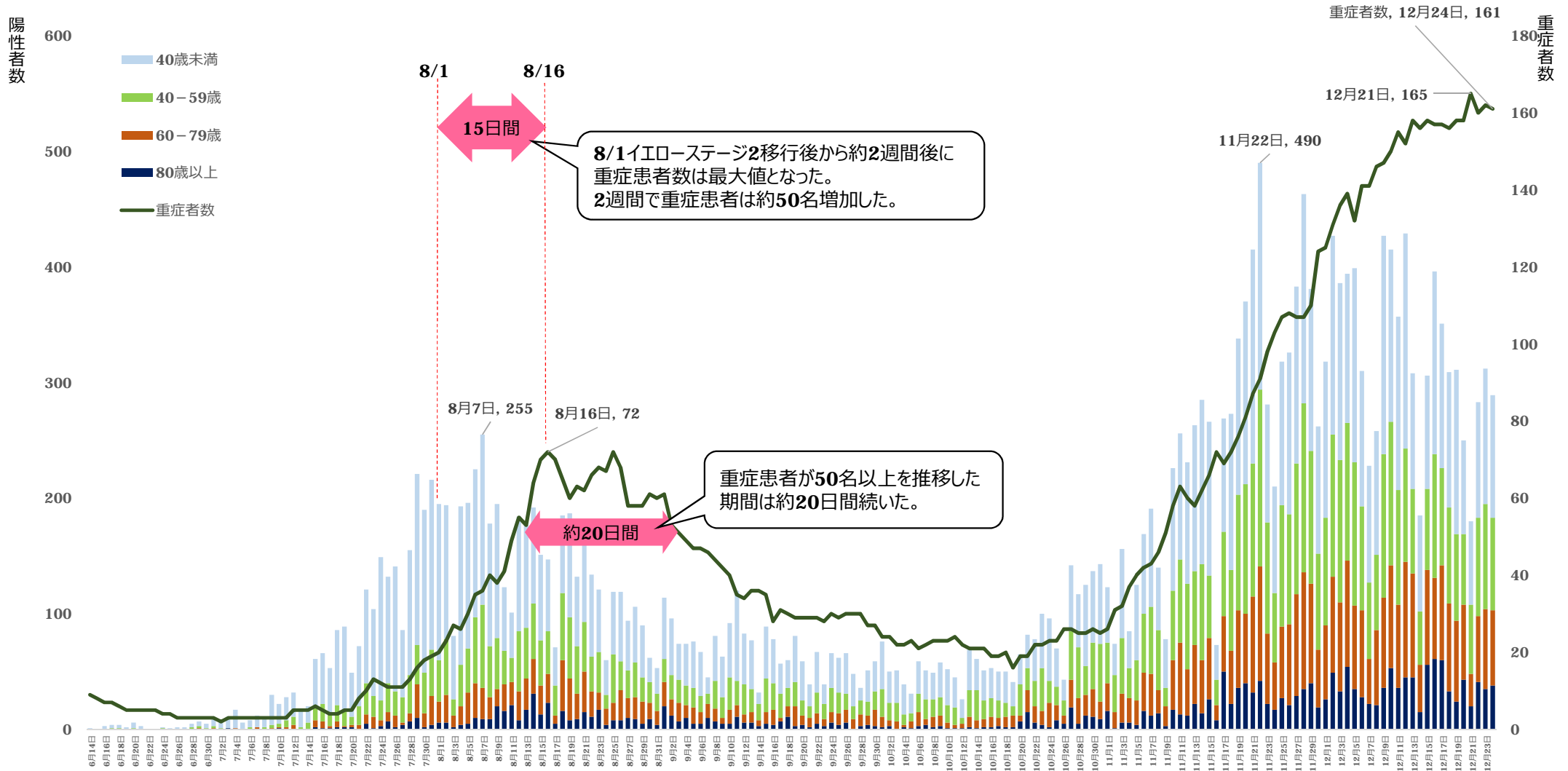
	発表名称	件数	陽性者数	割合
1	大学・学校関連	17校	257	9.8%
2	医療機関関連(※)	27医療機関	891	34.1%
3	高齢者施設・障がい者施設関連(※)	66施設	1,211	46.3%
4	その他	23件	261	9.8%
計			2,620	100%

クラスターにおける陽性者数の割合

	第一波	第二波	第三波
クラスターにおける陽性者数	340	840	2,620
全陽性者数	1,786	9,271	16,755
割合	19.0%	9.1%	15.6%

(※) 医療機関関連及び施設関連陽性者合計2,102人(職員696人、利用者1,406人)

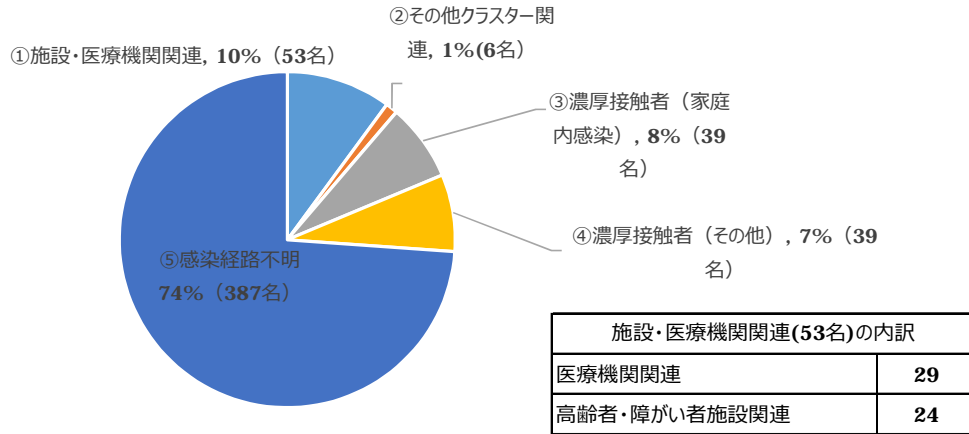
陽性者の年齢区分と重症者数の推移



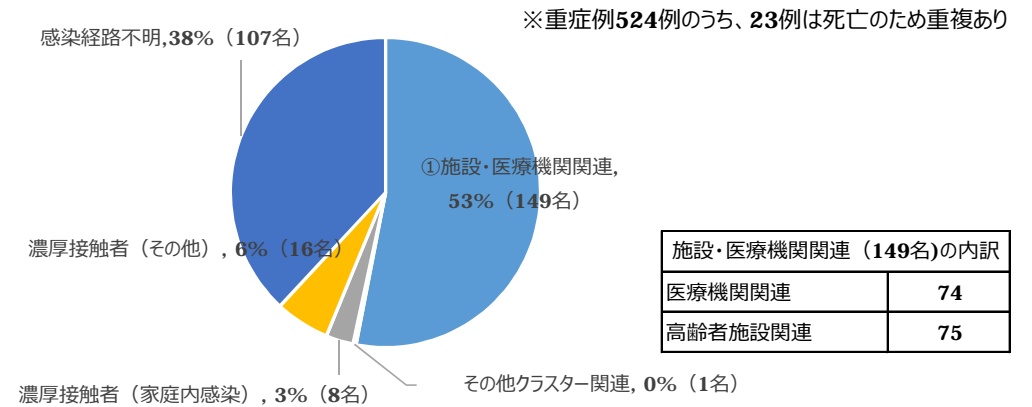
【10/10以降】重症・死亡例について推定される感染経路（12/23判明時点）

10月10日以降の重症例524名について、推定される感染経路の約8割は感染経路不明者。
 死亡例281名について、推定される感染経路の5割強が施設・医療機関関連で、4割弱が感染経路不明者。

重症例（N=524）について推定される感染経路



死亡例（N=281）について推定される感染経路



年代	重症例 総数	感染経路内訳					感染者 総数	重症化率
		施設・ 医療機関関連	その他 クラスター関連	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者 (その他)	感染経路不明		
未就学児	1			1			274	0.36%
20代	1	1					3179	0.03%
30代	7			1		6	2,213	0.32%
40代	18			1		17	2,341	0.77%
50代	65	3	1	2	6	53	2,465	2.64%
60代	121	6		10	7	98	1,697	7.13%
70代	207	19	4	17	16	151	1,684	12.29%
80代	97	17	1	7	10	62	1,216	7.98%
90代	7	7					383	1.83%
計	524	53	6	39	39	387	15,452	3.39%

年代	死亡例 総数	感染経路内訳					感染者 総数	死亡率
		施設・ 医療機関関連	その他 クラスター関連	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者 (その他)	感染経路不明		
40代	1					1	2,341	0.04%
50代	6	2			1	3	2,465	0.24%
60代	21	5		1	2	13	1,697	1.24%
70代	73	37	1	3	3	29	1,684	4.33%
80代	122	64		4	5	49	1,216	10.03%
90代	56	39			5	12	383	14.62%
100代	2	2					14	14.29%
計	281	149	1	8	16	107	9800	2.87%

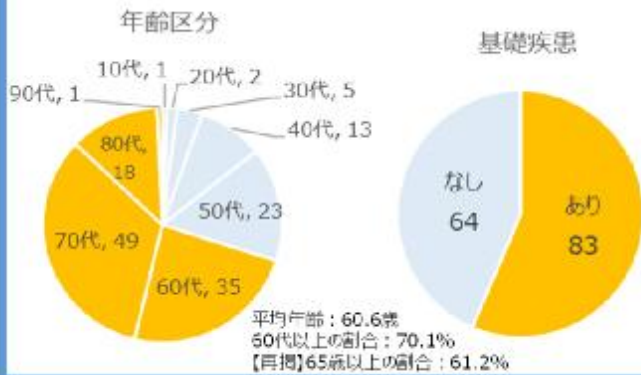
重症者のまとめ（12月23日時点）

※令和2年1月29日から6月13日を「第一波」、6月14日から10月9日を「第二波」、10月10日以降を「第三波」と総称して分析

第一波（6/13まで）

新規陽性者数	1,786
(再掲)40代以上(割合)	1,054(59.0%)
(再掲)60代以上(割合)	489(27.4%)
重症者数	147
死亡	47
退院・解除	100
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

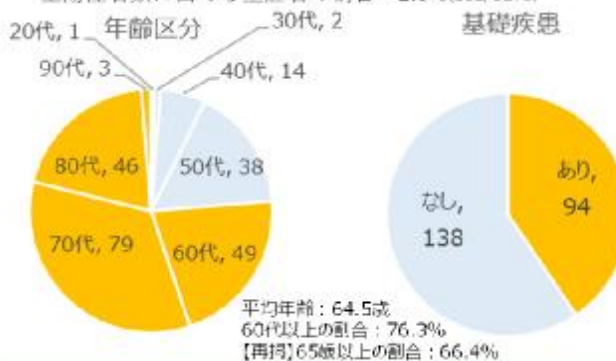
40代以上の陽性者に占める重症者の割合：13.2%(139/1054)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：21.1%(103/489)
 全陽性者数に占める重症者の割合：8.2%(147/1786)



第二波（6/14～10/9）

新規陽性者数	9,271
(再掲)40代以上(割合)	4,012(43.3%)
(再掲)60代以上(割合)	1,805(19.5%)
重症者数（※）	232
死亡	39
退院・解除	193
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

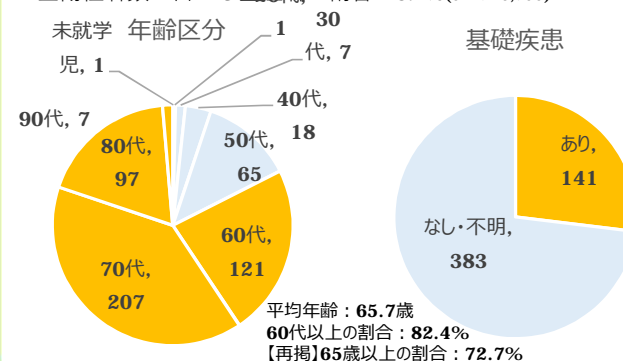
※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が7例あり
 40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.7%(229/4012)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：9.8%(177/1805)
 全陽性者数に占める重症者の割合：2.5%(232/9271)



第三波（10/10以降）

新規陽性者数	16,755
(再掲)40代以上(割合)	9,800(58.5%)
(再掲)60代以上(割合)	4,994(29.8%)
重症者数（※）	524
死亡	64
退院・解除	179
入院中（軽症）	119
入院中（重症）	162

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が2例あり
 40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.3%(515/9,800)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.7%(432/4,994)
 全陽性者数に占める重症者の割合：3.1%(524/16,755)



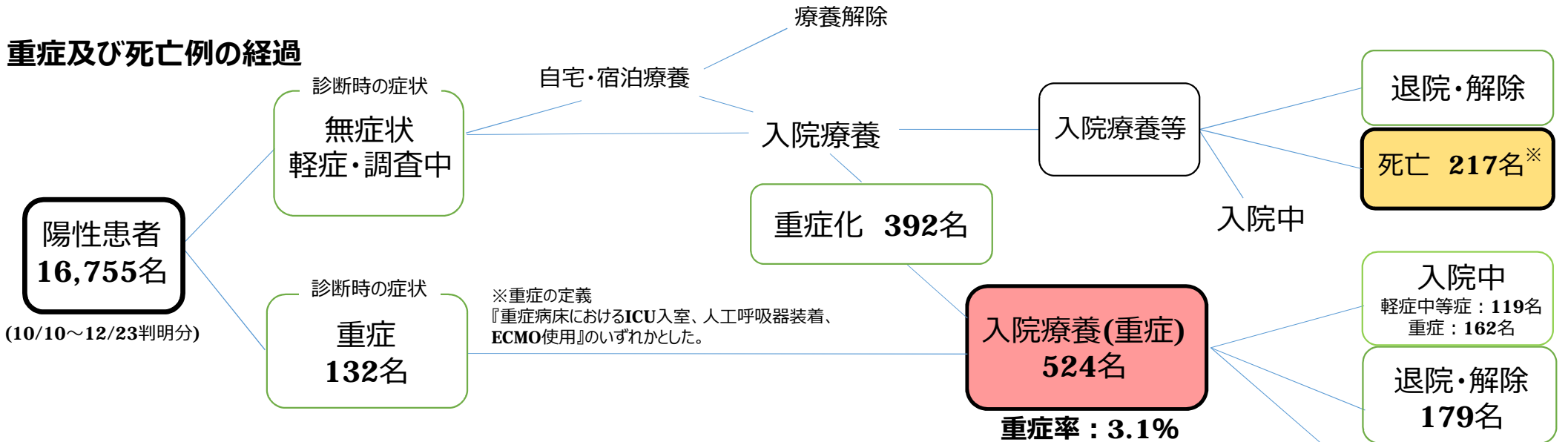
重症の定義：「重症病床におけるICU入室、挿管、人工呼吸器装着、ECMO使用」のいずれかとした。

基礎疾患：相談・受診の目安で示されている重症化リスクの高い患者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている患者）

第三波は第二波に比べ、40代以上、60代以上いずれも重症化率は減少しているが、全陽性者に占める重症化率は第二波より高い。

【10/10以降】重症及び死亡事例のまとめ（12月23日時点）

重症及び死亡例の経過



全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

	累計陽性者数	12/23判明時点			死亡者数 (死亡率)	12/23判明時点		
		6/13まで	6/14~10/9	10/10~12/23		6/13まで	6/14~10/9	10/10~12/23
大阪府	27,812	1,786	9,271	16,755	510 (1.8%)	87 (4.9%)	142 (1.5%)	281 (1.7%)
全国	204,317	17,179	70,012	117,126	3,049 (1.5%)	925 (5.4%)	698 (1.0%)	1,426 (1.2%)

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない

※全国は厚生労働省公表資料（各自治体公表資料集計分）より集計。

第三波の死亡率は第二波を上回り、全国よりも高い。

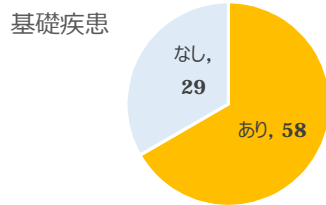
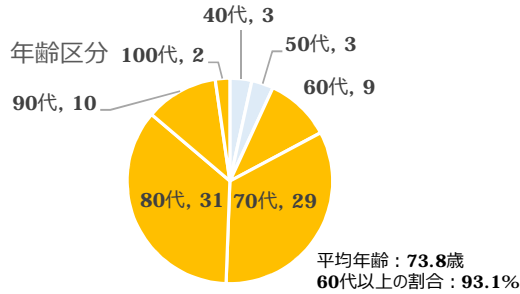
死亡者のまとめ（12月23日時点）

※令和2年1月29日から6月13日を「第一波」、6月14日から10月9日を「第二波」、10月10日以降を「第三波」と総称して分析

第一波（6/13まで）

新規陽性者数	1,786
(再掲)40代以上(割合)	1,054(59.0%)
(再掲)60代以上(割合)	489(27.4%)
死亡者数	87

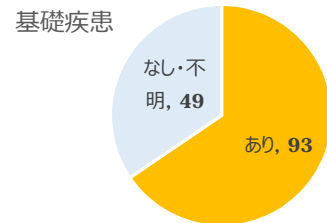
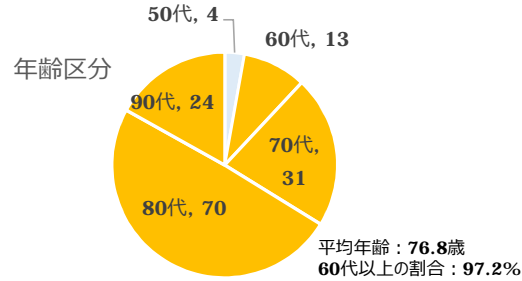
40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：8.3%(87/1054)
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：16.6%(81/489)
 全陽性者数に占める死亡者の割合：4.9%(87/1786)



第二波（6/14～10/9）

新規陽性者数	9,271
(再掲)40代以上(割合)	4,012(43.3%)
(再掲)60代以上(割合)	1,805(19.5%)
死亡者数	142

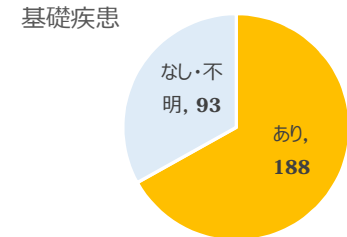
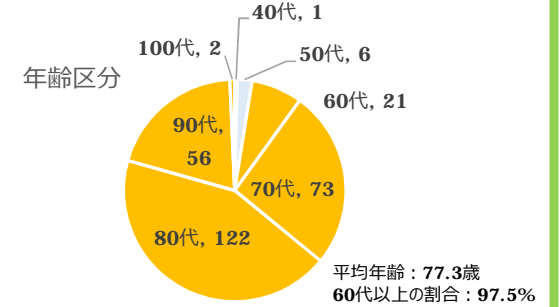
40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：3.5%(142/4012)
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：7.6%(138/1805)
 全陽性者数に占める死亡者の割合：1.5%(142/9271)



第三波（10/10以降）

新規陽性者数	16,755
(再掲)40代以上(割合)	9,800(58.5%)
(再掲)60代以上(割合)	4,994(29.8%)
死亡者数	281

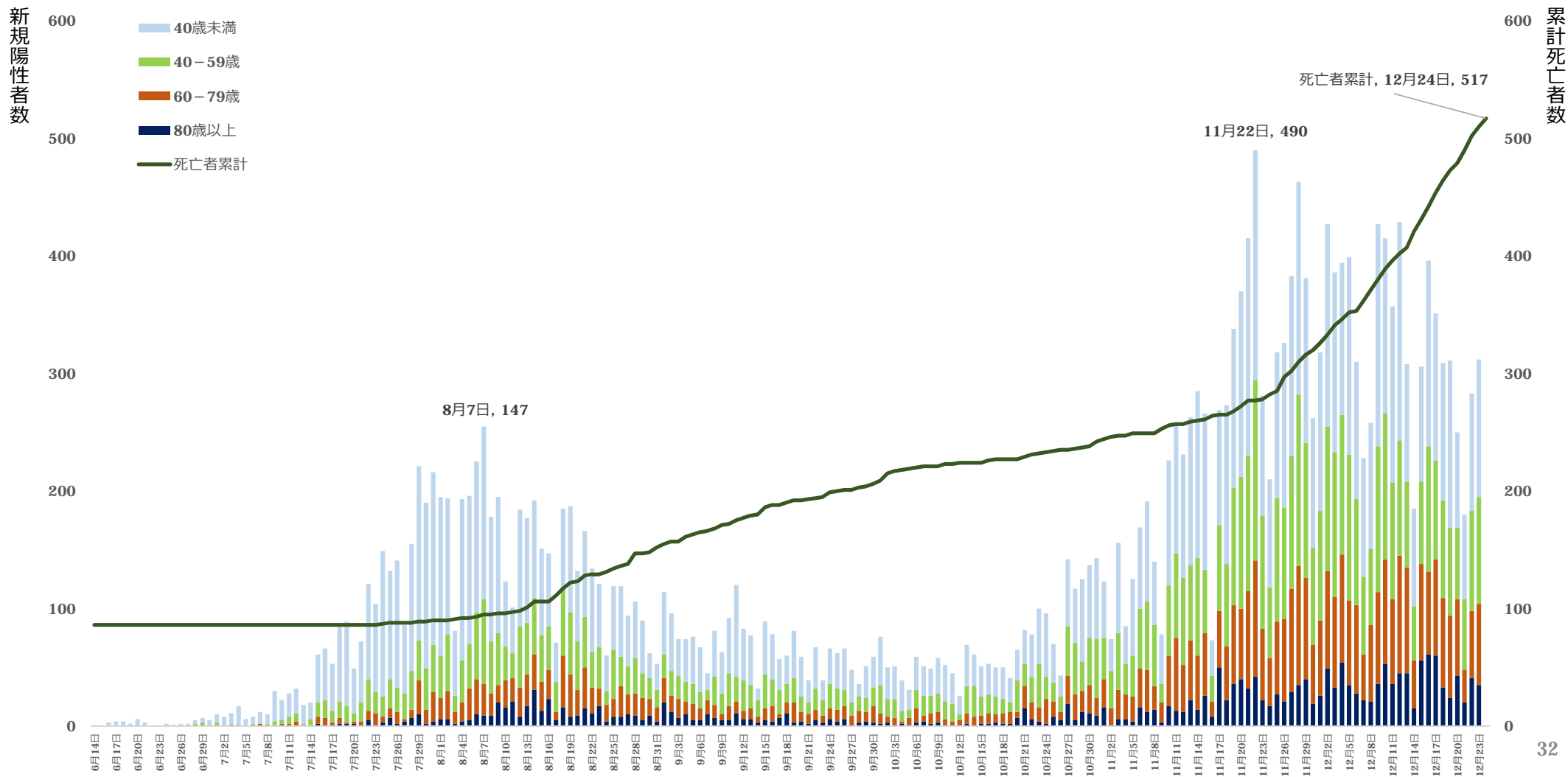
40代以上の陽性者に占める死亡者の割合：2.9%(281/9800)
 60代以上の陽性者に占める死亡者の割合：5.5%(274/4994)
 全陽性者数に占める死亡者の割合：1.7%(281/16755)



基礎疾患：相談・受診の目安で示されている重症化リスクの高い患者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている患者）

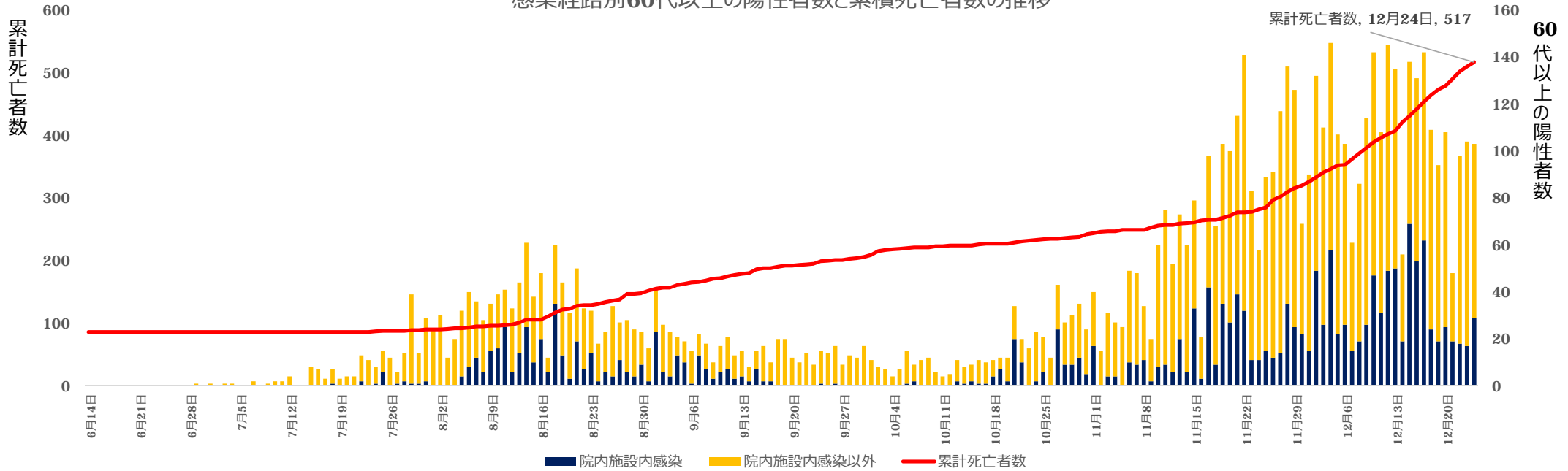
第三波の死亡率は第二波を上回っている。

陽性者の年齢区分と死亡者数の推移



60代以上の患者発生と死亡の推移

感染経路別60代以上の陽性者数と累積死者数の推移



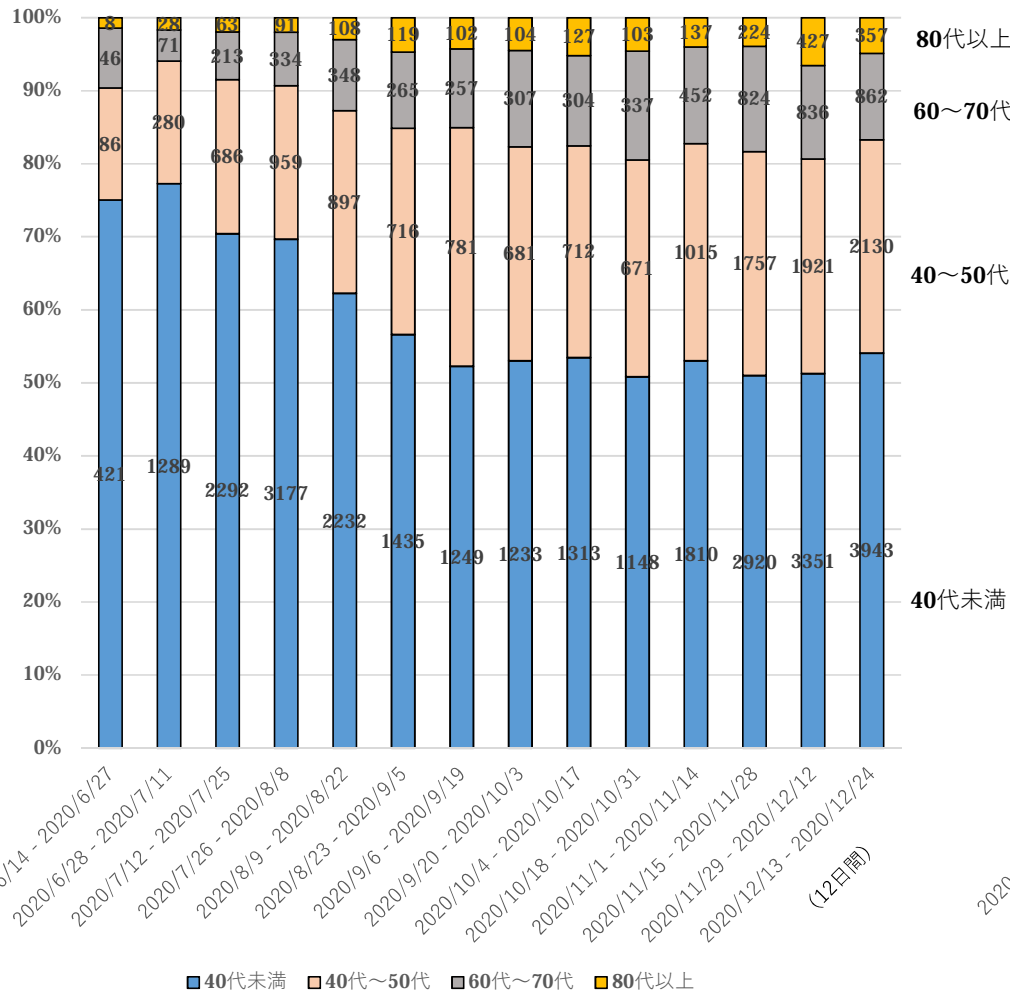
1週間毎のクラスター公表施設数（医療機関及び施設）

クラスター公表施設数	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26	8/2	8/9	8/16	8/23	8/30	9/6	9/13	9/20	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13	12/20~12/24	
医療機関								1	1	3		2	2				1	2		2	1	1	5	1	4	7	3		3
高齢者施設					1	2	1	7	3	1	3	2							2	3	4	6	5	10	8	11		6	
障がい者施設・福祉施設							1	1			1													4	3	2	2		2
合計	0	0	0	0	0	1	3	3	8	6	2	5	4	0	0	0	1	2	0	4	4	5	11	10	17	17	16	11	

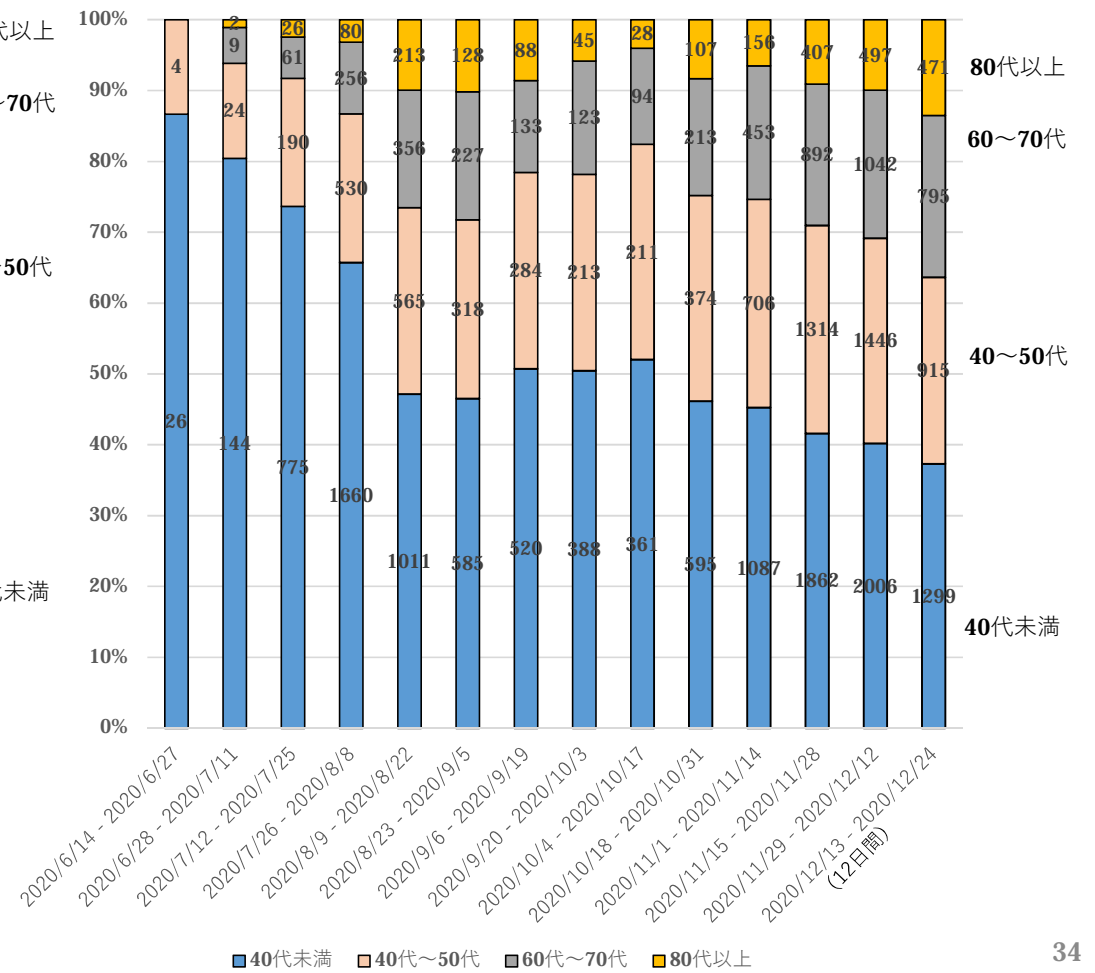
医療機関や高齢者施設クラスターの増加に伴い、死亡者数が急増している。

【参考】陽性者の年齢区分の推移（公表日別数値）（東京都と大阪府の比較）

東京都 陽性者の年齢区分（割合、2週間単位）

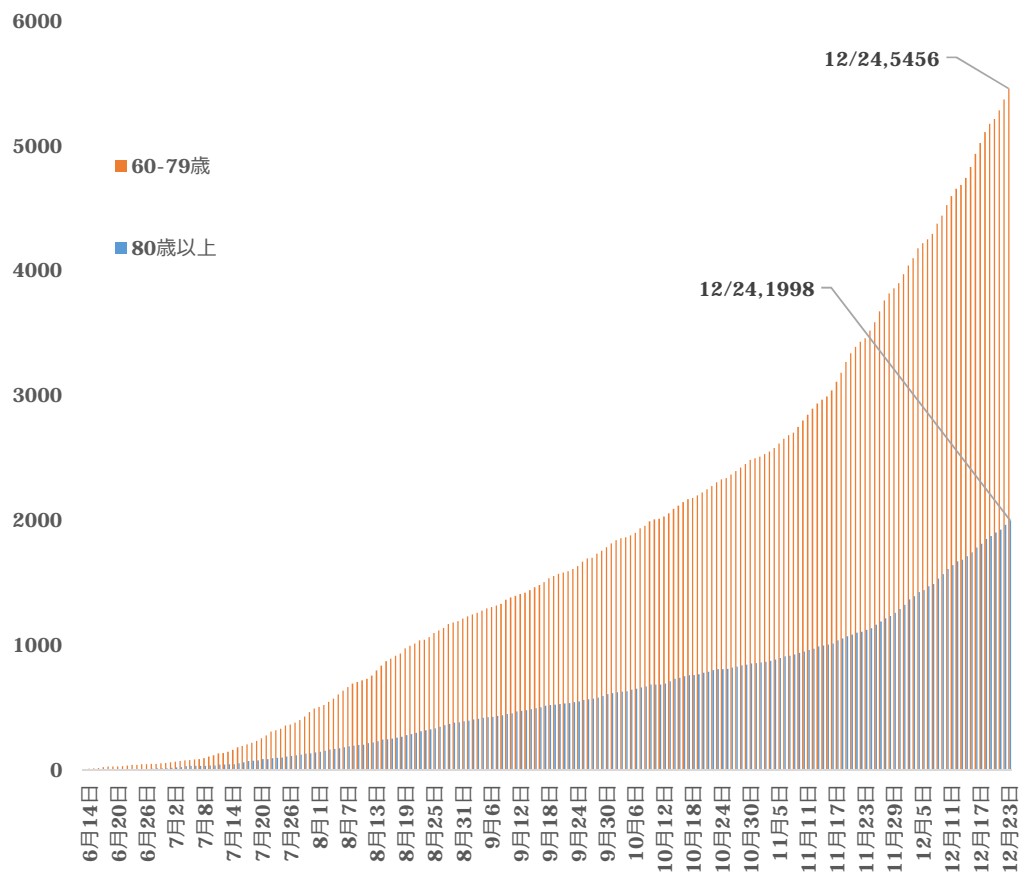


陽性者の年齢区分（割合、2週間単位）



60代以上の累積陽性者数の推移（東京都と大阪府の比較）

東京都における60歳以上の累積感染者数



大阪府における60歳以上の累積感染者数

